

# 2026

## 履修案内

豊橋創造大学

保健医療学部 理学療法学科

保健医療学部 看護学科

経営学部 経営学科



# INDEX

02 … 建学の精神、教育理念・教育目標

03 … 全学共通事項

04 … 履修の基礎

- 1 単位の算定
- 2 セメスター制
- 3 卒業要件
- 4 履修登録
- 5 授業
- 6 試験
- 7 成績評価
- 8 GPAによる評価
- 9 成績評価の通知と発表
- 10 各種証明書
- 11 他大学との単位互換科目の履修について
- 12 経営学部 編入学者(3年次編入)の履修について
- 13 学修における生成AIツールの利用に関する本学の方針

19 … 保健医療学部 理学療法学科

20 … 3つのポリシー・カリキュラムの特色

- 1 3つのポリシー
- 2 カリキュラムの特色
- 3 学生行動指針

29 … 履修の基礎(理学療法学科)

- 1 卒業要件単位数
- 2 履修登録単位数の上限(CAP制)
- 3 進級要件
- 4 国家資格

31 … 教育課程表

35 … 保健医療学部 看護学科

36 … 3つのポリシー・カリキュラムの特色

- 1 3つのポリシー
- 2 カリキュラムの特色
- 3 大学生生活を始めるにあたって

42 … 履修の基礎(看護学科)

- 1 卒業要件単位数
- 2 履修登録単位数の上限(CAP制)
- 3 進級要件
- 4 資格について
- 5 臨地実習の履修に関わる検査と予防接種
- 6 国家試験について

45 … 教育課程表

49 … 経営学部 経営学科

50 … 3つのポリシー・カリキュラムの特色

- 1 3つのポリシー
- 2 カリキュラムの特色

60 … 履修の基礎(経営学科)

- 1 卒業要件単位数
- 2 履修登録単位数の上限(CAP制)
- 3 進級要件
- 4 資格について
- 5 卒業論文作成と提出について

65 … 教育課程表

69 … 巻末

- 1 豊橋創造大学・豊橋創造大学短期大学の「プライバシーポリシー」について
- 2 豊橋創造大学・豊橋創造大学短期大学部における個人情報の取り扱いについて



誠をもって勤儉譲を行え

### 建学の精神

本学を設置する学校法人藤ノ花学園の建学の精神は、「誠をもって勤儉譲を行え」です。この言葉は、学園創立者伊藤卯一が二宮尊徳の教えをもとに定めたものです。「誠」は「至誠」を意味し、人間としての基本的な態度を意味します。「勤・儉・譲」は、勤勉、儉約、推譲を意味します。二宮尊徳の教えは、勤勉さを持ち、私利私欲を抑え、公共のために尽くす精神として広まり、我が国の発展の礎となりました。

本学園は、明治35年（1902年）の創立以来、この建学の精神をもとに、地域に根ざし、実用的な知識・技能を学び、その過程を通して人間性を高めることを教育の基本方針として受け継いでいます。

### 教育理念・教育目標

豊橋創造大学は、教育基本法及び学校教育法にのっとり、文化の向上を目指し創造性豊かな人間味あふれる人格の形成と専門的職能教育を施すことを目的とし、広く国際的視野をもって、人類の福祉に貢献する社会人の育成をその使命とする。（学則第1条）

また、大学設置の趣意書には、「地域に密着しながら高度の教育を実施し、次世代社会の担い手である創造性豊かな若人を育成することを目的とする」と謳われている。

# 全学共通事項

# 履修の基礎

## 1 単位の算定

大学での履修制度は単位制です。単位制とは、授業科目ごとに大学設置基準に基づいて学修し、所定の単位を修得する制度です。

単位とは学修時間を表す名称で、その修得は、個々の科目について所定の時間を履修し、試験その他の方法により合格と判定されたときに認められます。

「1単位」とは、各授業科目につき、授業及び授業外をあわせ、45時間の学修時間（予習・復習）を必要とするものとして計算されます。

なお、1年間の授業期間は、春学期15週と秋学期15週をあわせて30週です。各授業科目の単位計算は、科目の種類・性質等によって異なり、大別して次の3種類に分けられます。

### ①講義科目

15時間の授業で1単位となります。

### ②演習・実技科目（スポーツ、ゼミナール等）

30時間の演習・実技で1単位とします。

### ③実習等（インターンシップ、臨床・臨地実習等）

30時間から45時間の実習等で1単位とします。

※本学の授業時間は単位の計算上、90分間を2時間とします。

## 2 セメスター制

セメスター制とは、1年を春学期と秋学期に分け、授業を各学期で完結し、単位認定を行う教育制度のことです。セメスター制では学期ごとの授業回数は、最大15回（期末試験時間を含まず）です。大学生となったこの瞬間から、高等学校までの受身の授業態度から脱却し、各授業とも、下記のことを意識して積極的に授業に臨みましょう。

①欠席しないこと。

②指示された予習・復習・課題は提出期限を厳守すること。

③疑問点などについては積極的に質問すること。

## 3 卒業要件

### ①卒業要件

本学を卒業するためには、4年以上在学し（ただし、休学期間を除く）、各学科が定める卒業要件単位数以上を修得しなければなりません。

また、4年以上在学し、卒業要件を充たしたものには学位記を授与し、「学士」の学位が与えられます。

### ②卒業見込証明書の発行条件

就職や進学のために必要な卒業見込証明書は、次の条件を満たさなければ発行できないものとします。

4年次春学期の履修登録（4年次は春学期と秋学期の通年分を登録する）により、卒業要件を充たすことができると推定できる場合には、5月初旬から卒業見込証明書を発行することができます。ただし、4年次春学期試験終了後の単位修得状況から、4年次秋学期に履修登録しても卒業要件をみたすことができない学生については、その段階で卒業見込証明書の発行を中止する。

## 4 履修登録

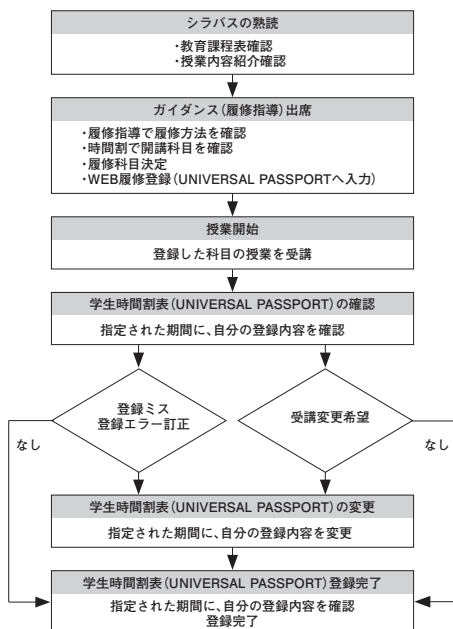
履修登録とは、その年度の春学期、秋学期に履修しようとする授業科目を決め、当該学期はじめの所定の期日までに届け出ることです。履修登録の手続きは単位修得のための重要な手続きです。この手続きを行わないと履修ができません。

### ①履修登録の方法

- (1)履修登録は単位計算と成績評価の基礎となるものです。卒業及び資格取得等に必要な科目、単位数についてよく調べた上で、年間を通じた具体的な履修計画をしっかりと立てます。
  - (2)授業科目の履修は、「授業科目一覧表」の配当年次に従って履修します。  
(上級学年に配当されている科目は履修できません。)
- ◆再履修する者は改めて履修登録を行わなければなりません。
  - ◆2年次以降において、未修得の過年次配当の授業科目があった場合、卒業必要単位数との係わりを考慮したうえで、優先して履修します。(※すでに履修し単位を修得した科目の履修は認められません。)

### ②履修科目の決定から履修登録完了までの流れ

#### WEB 履修登録の仕方



※通年科目は、春学期に登録すれば秋学期登録の必要はありません。

### ③履修の取消

GPA 算定対象科目について、履修登録をした科目であっても受講目的が達成されないなどの理由から別に定める履修取消期間内に限り、履修の登録を取り消すことができます。履修の取り消しに関しては下記のような注意事項があります。

- (1) 履修取消期間については各学期に設けるので注意すること。
- (2) 履修の取消には「GPA に係る履修登録科目の取消願」の提出が必要です。なお、提出に際しては担任の許可が必要になります。
- (3) 各学期に定められた履修取消期間内に手続きを行わない場合は、当初申請した履修科目が成績評価の対象となりますので注意が必要です。ただし、履修取消期間中において、病気、事故等やむを得ない事情による場合は、この限りではありません。
- (4) 「必修科目」は、履修取り消しはできません。
- (5) 履修を取り消した科目に替え、新たな授業科目の履修登録はできません。

### ④入学前の既修得単位の認定について

学則第 12 条ならびに豊橋創造大学単位認定に関する規定を参照してください。

単位認定を希望する場合は、自己申請（書類提出）により受け付けるので、履修登録前に教務課へ申し出て、以下の申請受付期間内に手続きしてください。それ以降の申請は一切受け付けないので、期限を厳守してください。

〔申請受付期間〕

春学期入学者……入学年の 6 月 30 日まで

秋学期入学者……入学年の 12 月 27 日まで

※ただし、受付期間最終日が事務局休業日の場合は、休業日後最初の事務局開業日とする。

### ⑤履修登録単位数の上限（CAP 制）

授業科目の履修にあたっては、系統的かつ総合的な学修を考慮し、無計画な履修を避けるために、各学科で年次・学期別に履修できる単位数の上限を設けています。

これを CAP：キャップ制といい、この上限を超える履修登録はできません。

授業科目に設定されている単位は、1 単位につき、45 時間の学修時間を必要とします。この学修時間には、授業時間と予習・復習にあてる時間を含んでいます。履修した科目数に比例して、それぞれに必要な学修時間も増えることになります。履修登録できる単位数を制限することは、履修した科目について十分な学修時間を確保することができるように、また、履修した内容を真に身につけることができるようにすることを目的としています。

計画的かつ無理のない履修が行えるよう十分検討し、履修登録してください。

## 5 授業

### ①授業時間

授業時間は原則として 1 日 5 時限で、次の通りです。

時 限	時 間
第 1 限	9 : 00 ~ 10 : 30
第 2 限	10 : 40 ~ 12 : 10
第 3 限	13 : 10 ~ 14 : 40
第 4 限	14 : 50 ~ 16 : 20
第 5 限	16 : 30 ~ 18 : 00

◆試験期間中は時間帯が異なる場合があるので、注意しましょう。

## ②休講

原則として、以下の場合は「休講」になります。

- (1)休講掲示があった場合
- (2)学校行事等により、平常授業を行わない場合
- (3)授業開始から30分以上経過しても、授業担当教員から教室に連絡がない場合
- (4)愛知県東三河南部に「暴風警報」(暴風雪警報も含む)又は「特別警報」が発表された場合
- (5)交通機関のストライキ等の場合

JR 東海、豊橋鉄道、名鉄のいずれかがストライキ又は自然災害等の影響で運行を停止し、授業等の実施が困難な場合

- (6)大規模地震が発生した場合、もしくは「南海トラフ地震に関連する情報」で発表された情報等にもとづき、

講義または試験等を行うことが困難であると学長が判断した場合は休講(場合によって休校)とします。

### 【詳細情報】暴風警報、特別警報の発令及び解除に関する授業等の取扱いについて

愛知県東三河南部に暴風警報(以降、暴風雪警報も含む)又は特別警報が発表された場合は、授業等を休講とする。

ただし、愛知県東三河南部の暴風警報又は特別警報が解除された場合の授業等の取扱いは、次の通りとする。

状 況	授業等の実施
午前7時まで解除された場合	平常授業等を実施する。
午前11時まで解除された場合	午後1時以降の授業等を実施する。
午後4時まで解除された場合	午後6時以降の授業等を実施する。

なお、愛知県東三河南部以外の地域に居住する学生で、居住地域・通学経路に暴風警報、特別警報が発表されている場合は、授業等への出席を要さない。その際は3日以内に教務課カウンターへ申し出て、事務手続きを行うこと。

※実習中の場合も、原則としてこの取り扱いに準ずることとする。

各自で実習地域の状況を確認し、実習施設の指示に従うこと。

## ③補講

平常の授業を休講した場合には、「補講」を行います。

補講は、通常講義期間中の時間外に行う場合と「補講日」に行う場合があります。

日程は、そのつど掲示によって指示します。

## ④集中講義

春期又は夏期休業などの一定の期間にまとめて集中的に行う講義です。

## ⑤欠席

欠席については、次のような扱いをします。

- (1)各授業担当教員の定めた基準による。(授業担当教員の指示に従うこと。)

出席率、レポート提出率等が授業担当教員の定めた基準を満たさない場合は、定期試験の受験資格

を失います。

<定期試験受験資格基準>

理学療法学科：講義科目で2/3以上、演習・実技科目（実習等）では4/5以上の出席

看護学科：講義及び演習科目で2/3以上、実技及び実習は4/5以上の出席

経営学科：授業実施回数の2/3以上の出席

(2)遅刻の取扱いについては、授業担当教員の指示に従ってください。

(3)次の場合は、公欠扱いとします。

該当の学生は、以下の手続き期間内に指定の提出先へ「公欠願」を提出してください。期限を過ぎたものは、一切受け付けることができませんので注意してください。

※ただし、各学科細則により、公欠回数の限度、実習科目等による除外要件があります。

公欠とする内容	必要添付書類	手続き期間	提出先
<p>(1) 忌引を認める期間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一親等の場合（父母、配偶者） 7日</li> <li>●二親等の場合（祖父母・兄弟姉妹） 3日</li> <li>●その他三親等以内の親族のとき 1日</li> </ul> <p>※告別式又はその前日から数えて連続した日数とする。遠隔地の場合は、忌引日数の他に交通に要する日数を考慮する。</p>	<p>会葬礼状 または 葬儀証明書 など</p>	<p>左記期間の 翌日から 3日 (土日祝含まない) 以内</p>	<p>教務課</p>
<p>(2) 本人又はその家族が感染症（「学校保健安全法施行規則第18条の定めた感染症及び感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に規定する指定感染症等）にかかり出校停止となった場合</p> <p>第1種 エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。）及び特定鳥インフルエンザ（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成十年法律第百十四号）第六条第三項第六号に規定する特定鳥インフルエンザをいう。）</p> <p>第2種 インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く。）、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱、新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。）、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎</p>	<p>医師の診断書</p>	<p>医師により出校を許可された日から3日（土日祝含まない）以内</p>	<p>教務課</p>

第3種 コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、バラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症			
(3) 本人の就職試験等の場合（会社訪問は除く）	就職試験報告書	欠席した翌日から3日（土日祝含まない）以内※	キャリアセンター
(4) 大学の認めた公的な理由による場合（対外試合、課外活動等）	学外行事参加願 学外行事参加報告書 集会・合宿許可願	欠席した翌日から3日（土日祝含まない）以内※	学生課
(5) 地震・水害などの大規模な災害で出校することが危険となった場合		欠席した翌日から3日（土日祝含まない）以内※	教務課
(6) その他大学が正当な理由として特に認めた場合			教務課

※事前にわかっている場合に提出すること。

交通機関の事故のため遅刻または欠席した場合は、出校後直ちに該当する授業担当教員へ届け出てください。延着証明書が渡された場合はそれを添えてください。

- (4) 病気、その他の事由のため、1週間以上欠席する場合は、学生課に「**長期欠席届**」を提出してください。（病気による欠席の場合は、医師の診断書を添付する。）
- (5) 病気、その他の事由のため、3カ月以上欠席する場合は、学生課に申し出て、「**休学願**」を提出してください。（病気による欠席の場合は、医師の診断書を添付する。）

## 6 試験

### ① 試験

各学部学科の履修規程等を参照してください。

#### (1) 定期試験

原則として、各授業科目が終了する学期末に、一定の期間を定めて行う試験です。ただし、早期に終了した授業科目にあっては、適宜行うことがあります。試験は筆記試験、レポート、その他の方法で行います。レポートの提出期限を守らなかった場合は、定期試験を受験しなかったことと同様です。

#### (2) 追試験

病気、その他のやむを得ない事由のため定期試験当日に欠席した場合、あるいは、レポートの場合で指定期日に提出できなかった場合に受ける試験です。

定期試験を欠席した場合は、欠席当日の翌日から3日（土日祝を含まない）以内に「欠席届」と次頁の書類を教務課へ提出し、追試験の手続きについて指示を受けること。また、あらかじめ就職試験などにより定期試験日に欠席することが明らかな場合は、事前に授業担当教員へ申し出るとともに、教務課に申し出て追試験の手続きの指示を受けること。

なお、追試験の有無は、各学期定期試験後の成績公開時に UNIVERSAL PASSPORT にて確認すること。手続きは指定された期限内に速やかに行うこと。日時・場所については、追・再試験手続き日に掲示します。

受験を認められる理由	出願に必要な書類
交 通 事 故	事故証明書・欠席届
病 気 ・ ケ ガ ( ※ )	医師の診断書 (欠席日が明記されているもの) ・ 欠席届
就 職 ・ 編 入 試 験 ( ※ )	公欠願と就職・編入学試験報告書・欠席届
忌 引 ・ 災 害 ( ※ )	公欠願と欠席理由を証明する書類・欠席届
そ の 他 大 学 が 認 め る 理 由 ( ※ )	公欠願・欠席届 ※交通機関の遅延等による遅刻、欠席の場合は、延着証明書を添えること

※公欠、忌引、インフルエンザ等の感染症、災害の場合、受験料は不要です。(「欠席」のページ参照のこと)

※学校において予防すべき感染症の種類は次のとおりとする。

- 第1種 エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)、中東呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。) 及び特定鳥インフルエンザ (感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 (平成十年法律第百十四号) 第六条第三項第六号に規定する特定鳥インフルエンザをいう。)
- 第2種 インフルエンザ (特定鳥インフルエンザを除く。)、百日咳、麻しん、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱、新型コロナウイルス感染症 (病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス (令和二年一月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)) であるものに限る。)、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎
- 第3種 コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他感染症

### (3)再試験

定期試験の結果が成績不良で、不合格(「不」の評価)となった者が、再び受ける試験です。

必修科目については再試験を実施しますが、経営学部においては実施しない場合があります。また、理学療法学科の理学療法臨床実習はこの限りではありません。

選択科目については以下の通りです。

経営学部：再試験の実施はありません。ただし、卒業年次に限り、卒業に必要な最低科目、単位について受験することができます。

保健医療学部：再試験の実施有無は授業担当教員により決定します。

※再試験が実施されない場合、単位は認定されませんので注意してください。

※再試験該当者は各自で成績を確認し、定められた期限内に、所定の手続きを行ってください。

手続きをしない場合、受験は認められませんので、十分に注意してください。

### ◆試験をレポートで実施する場合◆

レポートは、指示された日時・場所へ提出します。レポートは筆記試験と同様とみなすので、正当な理由で指定日時に提出できなかった場合は、追試験の手続きが必要であり、成績不良の場合の再提出は再試験の手続きが必要です。

## ②学生受験心得

(1)受験にあたっては、次のことを厳正に守ること

- ①試験場では必ず学生証を携帯すること。不携帯の場合は受験を認めない。  
受験を希望する学生は、事務局学生課で仮学生証の発給を受けること。
- ②試験中は学生証を机上に提示すること。
- ③-a (理学療法学科) 遅刻者は原則として受験できない。但し試験開始後 20 分以内で正当な理由のある場合には係員 (試験教室の監督者) に申し出てその指示に従うこと。
- ③-b (看護学科、経営学部) 試験開始後 20 分以内であれば、係員 (試験教室の監督者) に申し出て、その指示に従い試験を受けることができる。
- ④試験開始後 30 分間は退場を認めない。
- ⑤試験開始後は棄権を認めない。
- ⑥本学から交付する答案用紙のほかは使用してはならない。
- ⑦答案用紙の学科、年次、組、学籍番号、氏名は必ず記入すること。また、これらを記入しない答案は無効となる。
- ⑧試験場へ持ち込み参照可の試験における参照書籍類は必ず自ら持参のものであること。教室内の貸借は認めない。
- ⑨必要最低限の筆記用具及び予め許可された参照物以外の物品は全て鞆等にしまい足元に置くこと。
- ⑩試験場においては私語その他いやくも疑惑を招くような態度をとらないこと。

(2) 不正行為を行った者には、次のいずれかを適用する。

- ①当該科目の単位を無効とし、さらに、当該学期における当該科目以降に実施する履修科目の試験については、「受験資格喪失」とする。
- ②当該科目のみならず、当該学期における全履修科目の単位を無効とする。
- ③停学、退学等の処分に付する。

### 不正行為とは

- (1) 替え玉受験及びその依頼
- (2) 答案交換
- (3) カンニングペーパーの使用
- (4) 書き込み (机、所持品、身体など)
- (5) 答案を写す (見た者、見せた者)
- (6) 私語又は動作による連絡 (連絡をした者、連絡を受けた者)
- (7) 偽名、氏名抹消又は故意による無記名
- (8) 持込が許可されていない参照物件の使用
- (9) 使用が許可された参照物件の貸借 (借りた者、貸した者)
- (10) 携帯通信機器の使用
- (11) 受験態度が不良の場合
- (12) レポート提出に際して他者のものを引き写した場合
- (13) (1) から (12) に準ずると認められた場合
- (14) (1) から (13) の行為が試験終了後に発覚した場合

(3) レポート試験の提出

授業担当教員の指示に従う。特にレポート表紙については指示のある場合はその指定の表紙を付けて提出する。

## 7 成績評価

### ①単位認定と成績評価

各学科の履修規定および履修規定細則を参照してください。

(1)定期試験の成績評価は、次のとおりとします。

評価	意味	成績証明書（就職試験等で提出）への記載	備考
秀	合格（90～100点）	秀	
優	合格（80～89点）	優	
良	合格（70～79点）	良	
可	合格（60～69点）	可	
不	（59点以下）成績不良・学修成果が合格に及ばなかったもの →必修科目については再試験受験可能	記載されない	追・再試験に合格すれば単位が認定される
欠	試験を欠席、またはレポートの未提出→正当な理由による欠席の場合のみ追試験受験可能	記載されない	
失	失格→定期試験及び追・再試験受験資格なし	記載されない	単位は認定しない

(2)追試験の成績評価…保健医療学部理学療法学科では、原則として「良」を上限とします。

保健医療学部看護学科では「優」を上限とします。

経営学部経営学科では、定期試験の成績評価と同様の扱いとします。

(3)再試験の成績評価…この試験に合格した場合の成績評価は、原則として「可」とします。

(4)認定した単位については、成績評価を行わず「認」と表示します。

（資格取得による単位認定、本学入学前に修得した授業科目の単位など）

(5)**不正行為により**「受験資格喪失」の処分を受けた場合および「当該学期における全履修科目の単位が無効」となった場合の成績評価は「失」とします。

### ◆成績の無効◆

学則第27条により、学期の途中等で除籍処分となった場合は、(①在学年限を超えた場合、②休学の期間を超えてなお修学できない場合、③指定の期日内に授業料等を納入しない場合、④長期間にわたり行方不明の場合) その時点で当該学期における全科目の成績は無効となります。

## 8 GPA による評価

豊橋創造大学では、Grade Point Average (GPA) を算出し、学修指導と厳格な成績評価を行っています。

### ①成績評価と GPA

教育課程の成績評価に与えられる Grade Point (GP) は次のとおりとします。

区分	成績評価	成績評価基準	GP
合格	秀	100～90点	4.0
	優	89～80点	3.0
	良	79～70点	2.0
	可	69～60点	1.0
不合格	不	59点以下	0.0
	欠		0.0
	失		0.0
GP 対象外	認	単位認定科目	—
	履	卒業要件外単位	—

### ②GPAの種類

当該学期における学修の状況及び成果を示す指標としての GPA (学期 GPA)、当該年度における学修の状況及び成果を示す指標としての GPA (年度 GPA)、在学中における全期間の学修の状況及び成果を示す指標としての GPA (通算 GPA) とします。

### ③GPA算出方法

GPA の算出方法は次のとおりとします。また GPA の計算値は小数点第 3 位以下を四捨五入とします。

#### (1) 学期 GPA

$$\frac{(\text{当該学期に評価を受けた科目で得た GP}) \times (\text{当該科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{当該学期の総履修単位数 (不合格科目を含む)}}$$

#### (2) 年度 GPA

$$\frac{(\text{当該年度に評価を受けた科目で得た GP}) \times (\text{当該科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{当該年度の総履修単位数 (不合格科目を含む)}}$$

#### (3) 通算 GPA

$$\frac{(\text{各学期に評価を受けた科目で得た GP}) \times (\text{当該科目の単位数}) \text{の累計}}{\text{総履修単位数 (不合格科目を含む)}}$$

通算 GPA、年度 GPA および学期 GPA を算出する場合には、不合格科目(「不」または「欠」「失」評価)を含みます。

通算 GPA および年度 GPA を算出する場合には、不合格と評価されたのちに再履修により合格となり単位を修得した科目についても過去に得た不合格の評価は GPA 算出に含むものとします。

### ④GPA対象科目

GPA の算出対象から除外される科目は、学科により異なります。詳細は各学科の「GPA 制度に関する要綱」を確認してください。

## ⑤GPA算定期日

GPAの算定は、原則として春学期にあつては9月、秋学期にあつては3月とします。ただし、春学期に実施の集中講義等によりGPA算定期日までに成績が確定していない科目については、秋学期の履修とし算出することがあります。

## ⑥ GPAの用途

Grade Point Average (GPA) は、履修、就学指導およびその他指導に利用します。

- (1) 通算 GPA が基準に満たない学生については、クラス担任等より指導を行います。学期 GPA が連続して基準に満たない場合は、保護者同席のうえ、状況の改善を目指す指導を行うことがあります。
- (2) 通算 GPA が基準に満たない学生については、クラス担任等による面談を行ったのち、クラス担任等、保証人が同席のうえ学科長による退学勧告を行うことがあります。ただし、面談の結果、状況の改善が期待される場合は、この限りではありません。
- (3) 卒業要件を満たし、通算 GPA が 3.20 以上のものは、豊橋創造大学・豊橋創造大学短期大学部学生表彰「豊橋創造大学・豊橋創造大学短期大学部学長賞」推薦基準に基づき、学部長による学長賞推薦の対象とすることがあります。  
※指導に必要な基準は別に定めます。

## 9 成績評価の通知と発表

成績は、UNIVERSAL PASSPORT にて本人に通知されます。在学中の成績（GPA 含む）が全て記載されます。

### 成績発表の時期

具体的な日程は、各年度の学年暦を参照してください。

	定期試験終了後	追再試験終了後
春学期	8月初旬	9月初旬
秋学期	2月初旬	3月初旬

また、入学手続きの際にご登録いただいた保証人に対して、秋学期の追再試験終了後に成績通知書を郵送します。修業期限で卒業できないことが確定した場合、また進級要件を充たすことができない場合、あるいはそれらの可能性が高いと判断された場合に、その事実と成績を保証人に通知します。

### ◆成績に疑問のある場合◆

どのような基準・方法で成績が評価されたかについて照会を求めることができます。照会を求める場合は、成績発表の日から1週間以内（最終日が休業日にあたる場合は翌日まで）に「成績評価確認届」を教務課に提出してください。

## 10 各種証明書

- ①成績評価のうち、成績証明書へ表示するものは「秀」、「優」、「良」、「可」、「認」とします。
- ②GPAの成績証明書への記載は、学生本人からの申請により受け付けます。その際、GPAの成績証明書への記載が正当な事由であると判断した場合に限ります。

## 11 他大学との単位互換科目の履修について

### 保健医療学部

保健医療学部では、愛知工科大学の「三河産業論」と「三河産業史」について、許可を得て履修し試験に合格した場合、本学の単位として認められる。卒業要件の単位には含まれず、自由科目の単位となる。履修を希望する場合は、教務課に問い合わせること。

### 経営学部 経営学科

#### ①愛知県内に所在する大学との単位互換協定について（愛知学長懇話会）

2年次以降に履修することが可能です。

これは、他大学で開講されている特定の科目を許可を得て履修し、試験に合格した場合、本学の単位として認められる制度です。

(1)卒業要件に加算できる修得単位数は、各学科・学年の卒業所要単位表を参照すること。

(2)手続き

愛知県内の大学との単位互換

春学期ガイダンス期間に本学で行う「単位互換に関する履修説明会」に参加し、出願手続きを行うこと。（年1回の受付で2年生以上対象）

(3)単位互換科目

愛知県内の大学との単位互換科目・・・履修説明会で別途お知らせします。

#### ②短期大学部との単位互換協定の締結について

経営学部の学生が、短期大学部キャリアプランニング科で開講されている特定の科目を許可を得て履修し、試験に合格した場合、本学部の単位として認められる制度です。

(1)卒業要件に加算できる修得単位数は、各学科・学年の卒業所要単位表を参照すること。

(2)手続き

履修登録期間に登録する。

(3)単位互換科目

	授業科目名	単位数	春	秋	備考
キャリアプランニング科	数的処理Ⅰ	2	○		
	数的処理Ⅱ	2		○	
	社会科学基礎	2	○		
	知識分野基礎	2		○	
	公務員知能分野応用	2	○		
	公務員知識分野応用	2	○		
	公務員総合ゼミナール	2	○		
	ニュース解説	2	○		

## 12 経営学部 編入学者(3年次編入)の履修について

### 【編入学者の履修について】

編入学者の認定単位については、本学に入學する前に修得した62単位が全て卒業要件の単位となるため、3年次編入後の2年間で68単位以上を修得すれば卒業できることとなります。具体的な履修方法については、下記のとおりです。

なお、上記62単位のほか、出身短期大学等で修得した授業科目の科目名と内容が、本学開講科目と類似している場合にはその単位を本学の科目として認定することができます。ただし、自己申請(書類提出)により受け付けるので、編入学時の履修登録前に教務課に申し出て、以下の申請受付期間内に手続きをしてください。それ以降の申請は受付できませんので期限を厳守してください。

単位認定の申請受付期間：入学年の6月30日まで。

(受付期間最終日が事務局休業日の場合は、休業日後最初の事務局開業日とする。)

- ①編入学生の修得済単位(包括認定単位62単位)の内訳は、「基礎教育科目」30単位、「専門教育科目」32単位で認定されます。

#### 2019年度以降編入生

経営学部の必修科目のうち、19科目36単位(基礎教養：4科目8単位、専門教育：15科目28単位)を履修済として含んでいます。包括認定単位に含まれる必修科目は、以下の通りとなります。

＜基礎教養科目＞

「入門ゼミナール1」「入門ゼミナール2」「基礎ゼミナール1」「基礎ゼミナール2」

＜専門教育科目＞

「職業研究」「キャリア形成」「社会人基礎」「就業体験講座」「経営と情報」「経営学入門」「簿記入門2」「ICTと現代社会」「プロジェクトマネジメント」「経営ビジネス講座」「マーケティングマネジメント」「情報処理論1」「情報処理実習1」「データベース論基礎」「データベース実習基礎」

- ②卒業要件を充たす履修科目は、専門教育科目とし以下の68単位とします。

領域別の科目内訳は以下の通りとなります。

#### 2019年度以降編入生

- (1)専門/基礎/共通科目…必修2単位(「コンピュータリテラシ1」、「コンピュータリテラシ2」)
- (2)専門/基礎/経営学…必修4単位(「マーケティング入門」、「経済学入門」)
- (3)専門/基礎/会計/財務…必修4単位(「簿記入門1」、「会計学入門」)
- (4)専門/基礎/情報コミュニケーション技術…必修4単位(「ICT応用」、「経営システム入門」)
- (5)専門/基幹/経営学…必修2単位(「経営管理論」)
- (6)専門/キャリア形成…必修6単位(「国語表現法」、「キャリア開発1」、「キャリア開発2」)
- (7)専門/プロジェクト科目…必修2単位(「プロジェクト実習1」、「プロジェクト実習2」)
- (8)専門ゼミナール…必修8単位
- (9)専門/展開科目…選択必修14単位
- (10)専門教育科目…選択もしくは選択必修22単位

したがって、編入学生は編入後の2年間で専門教育科目の必修科目(1)～(8)32単位と選択必修科目(9)14単位、さらに選択もしくは選択必修科目(10)22単位を履修し、合わせて68単位以上修得すれば卒業が可能となる。

③ 本学短期大学部からの編入生の単位認定について

本学キャリアプランニング科からの編入学生については、62単位のほかに短期大学部での修得単位数に応じて自己申請（書類提出）により単位を認定する。

また、包括認定62単位の中に次の単位が含まれている場合は、これらの単位を除き、その他の科目の単位を包括認定することとし、成績評価は「認定」とする。

- (1) 短期大学部と経営学部との共通開講科目。成績評価は既得のままとする。
- (2) 短期大学部の科目で経営学部の科目に読み替えが可能な科目（別表）。成績評価は「認定」とする。
- (3) 短期大学部において単位互換科目として履修した経営学部の科目。成績評価は既得のままとする。
- (4) 短期大学部において自由科目として履修した経営学部の科目。成績評価は「認定」とする。

入学金の免除… 本学短期大学部からの編入学の場合は、入学金が免除されます。

経営学部編入生 卒業要件単位表

卒業要件単位表（2019年度以降編入生）

		科目区分	必修	選択	包括認定	計	
基礎教育科目	基礎教養ゼミナール				62	130	
	人間・社会に関する科目	人間生活の質的向上に関する科目					
		社会参加の前提に関する科目					
		現代社会の課題に関する科目					
	外国語						
	健康の維持向上・管理に関する科目						
	日本文化に関連する科目						
	地域未来創造プログラム						
他大学開講科目							
専門教育科目	基礎科目	共通科目	2	22			
		経営学科目	4				
		会計・財務科目	4				
		情報コミュニケーション技術科目	4				
	基礎科目	経営学科目	2				
		会計・財務科目					
		情報コミュニケーション技術科目					
	展開科目	経営学科目			14		
		会計・財務科目					
		情報コミュニケーション技術科目					
	キャリア形成科目		6				
	プロジェクト科目		2				
	専門ゼミナール		8				
演習科目							
他大学開講科目							
合 計			32	14	22	62	130

## 13 学修における生成AIツールの利用に関する本学の方針

### ①本学の方針

現在、ChatGPT等をはじめとする生成系人工知能以降、生成AIの進展は目覚ましく、社会において期待とともに大きな注目を集めています。教育分野においては、生成AIを適切に利活用することで学修効果の向上が期待される反面、レポート等の作成に生成AIのみが使われること等に対する懸念が指摘されています。

こうした背景を踏まえ、本学では、生成AIの利活用に関する基本方針を下記のように定めます。

- ・本学では、学修活動における生成AIの利活用を一律には禁止しません。
- ・授業やゼミなどの学修における生成AIの利用可否や利用方法、利用場面については、担当教員の指示に従うものとします。

生成AIツールに関しては技術的な課題が存在しており、いくつかの懸念やリスクが指摘されています。学修のみならず、日常生活での利用に際しての留意事項を以下に示しますので、十分に注意して適切な利用に努めてください。

### ②留意事項

#### (1)生成AIと学修活動・成績評価

大学における学修は学生が主体的に学ぶことが本質です。学生自らの手によらず、生成AIの出力をそのまま用いてレポートや論文等の成果物を作成することは、情報を収集して対象を理解し、課題と解決策を模索する基本的な学修プロセスがバイパスされるため、学生自身の学びを深めることに繋がりにません。また、生成AIの出力に著作物の内容がそのまま含まれていた場合、これに気付かずレポート等に用いると、意図せずとも盗用・剽窃に当たる可能性があります。

学修において生成AIを不適切に利用した場合には、試験等における不正行為に該当するとみなされ、本学規程に基づき処分の対象となる場合がありますので十分に注意してください。

#### (2)生成AIの技術的境界（生成物の内容の正確性）

生成AIにより生成された内容には、誤った情報が含まれている、あるいはバイアス（先入観、偏り）が含まれている可能性があります。また、生成AIの出力結果を鵜呑みにして無批判的に用いることは思考過程の訓練の機会を逸することになり、不適切です。インターネット検索等と同様に、出力された内容の確認・裏付けを行うことが必要です。

#### (3)機密情報や個人情報の流出・漏洩等の可能性

生成AIは、利用者に対するサービス向上のため入力されたデータを使って学習しています。このため、生成AIへの入力を通じて機密情報や個人情報等が意図せず流出・漏洩する可能性があります。このような事態を避けるため、機密情報や個人情報等は絶対に入力してはいけません。また、情報漏洩の対策としてオプトアウト（学習機能の無効化）を利用し、守るべき情報をAIに学習させないような対策を行ってください。

#### (4)著作権侵害の可能性

生成AIが作成する回答には、インターネットサイト上の他者が作成した文章等の著作物が含まれている可能性があります。生成AIによってつくられた文章等の利用によって、著作権を侵害することのないよう注意してください。

### ③今後の対応

本学としては、今後もAI関連技術の進展や社会での活用状況等の情報収集を行い、教育理念において目標として掲げる「次世代を担う創造性豊かな人材の育成」に資するよう、適切かつ有効な利用法について検討を進めます。

保健医療学部  
理学療法学科

# 3つのポリシー・カリキュラムの特色

## 1 3つのポリシー

### 教育理念

医療・福祉の向上に寄与するために、幅広い教養と倫理観を身につけ、深い専門的知識と高い技術を持ち、生涯にわたり能力の向上を自発的に行うことができ、他の人格を尊重できる理学療法士を育成することを目標とする。

### ①アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本学の「建学の精神」を理解して、理学療法士になりたいと強く希望する次のような人たちを広く受け入れる。

- (1)幅広い人間性と協調性を有し、他者を思いやることができる人
- (2)保健・医療・福祉の分野に対する問題意識を持ち、主体的に取り組むことができる人
- (3)高等学校における学習内容を理解し、幅広い基礎学力を有している人
- (4)理学療法に対する関心度が高く、社会に貢献したいという目的意識を持つ人

### ②カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学科では、身体機能の専門職としての知識と技術を十分に発揮し、保健・医療・福祉の分野に貢献できる理学療法士を養成することを目的としている。理学療法を行うには、身体機能の障害だけでなく、それに伴う心理的問題をはじめとする多様で複雑な要因を考慮する必要がある。そのためには、豊かな人間性を培い、科学的思考を基に、率先して問題解決のできる人材を育成するカリキュラムを編成している。

理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定められた教育科目を基本として履修するだけでなく実践的で自ら考える内容のセミナー形式の科目を用意し、初年次より学外見学・実習を行い、学内での学修と専門職養成に不可欠な実践教育をバランスよく配置している。その中で、本学大学院健康科学研究科への接続科目やスポーツ理学療法領域を体系的に学修することができる科目と、臨床における専門的理学療法を学ぶことのできる臨床専門実習を設置している。卒業までに必修科目と選択科目を合わせた128単位以上を修得することで、理学療法士国家試験受験資格が得られる。

カリキュラムの詳細は理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則で提示されているものをもとにして基礎教育科目、専門教育科目で構成される。基礎教育科目は8つの科目群に分けられ、専門教育科目はさらに3つの専門基礎分野と7つの専門分野に分けられ、これら18の領域は個別に学生の到達度をもとに自己評価・点検を受けることとなっている。

各々の詳細は以下のとおりである。

### 基礎教育科目

「基礎教養ゼミナール」「人間生活の質的向上に関する科目群」「社会参加の前提に関する科目群」「専門教育の基礎となる科目群」「コンピュータリテラシに関する科目群」「外国語科目群」「健康の維持向上・管理に関する科目群」「地域未来創造プログラム」の8つの科目群

### 専門基礎分野

「人体の構造と機能及び心身の発達」「疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進」「保健医療福祉とリハビリテーションの理念」の3つの領域で構成

## 専門分野

「基礎理学療法学」「理学療法管理学」「理学療法評価学」「理学療法治療学」「地域理学療法学」「臨床実習」「理学療法研究・演習」の7つの領域で構成される。

(基礎教育科目と専門教育科目の科目編成の詳細は別添資料を参照のこと)

学年ごとにカリキュラムの構成を通覧すると、1年次では、幅広い教養を身につけながら、自然科学ならびに解剖学や生理学といった医学の基礎となる科目を学ぶ。同時に、学生自らが医療従事者の一員であることを自覚するための実践教育を展開する。

2年次では、解剖・生理学を応用した運動学を確実に身に付け、理学療法利用者の病態を理解するために必要な臨床医学を学修する。その上で、理学療法評価学の検査項目や測定手技を、講義および実習を通して習得する。

3年次の前半は、理学療法治療学や地域理学療法学の立場から臨床的問題点の解決過程を学び、チームワーク医療の重要性や予防医学への応用、さらに健康増進の社会的必要性について学修する。3年次後半には、学生一人一人が理学療法の臨床応用を疑似体験できるよう、教員の指導のもとで理学療法技術論をととして理学療法の適用方法と技術を深める。同時に、1～3年次の講義や臨床実習で学んだ理学療法学の学問体系をもとに、理学療法学の専門分野を発展させるための研究方法を理学療法研究・演習の過程で習得する。

4年次では、豊橋市内をはじめとする各地の臨床実習関連施設において、臨床指導者のもとで理学療法対象者、個々の状態に合わせた理学療法の実践、即ち評価、診断、治療および効果判定を総合的に学修する。

### ③ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

- (1)医療専門職ならびにチーム医療の一員としてふさわしい倫理観や、幅広い教養とコミュニケーション能力を身につけている。
- (2)理学療法の専門領域ならびに関連した領域の課題を解決するために必要な情報を収集し、適切に活用する能力や判断力を有している。
- (3)医療人として必要な基本的知識を身につけている。
- (4)理学療法学の専門的な知識および技術を修得し、それらを実践する能力を有している。

## 2 カリキュラムの特色

理学療法学は専門領域が多岐に亘り、学習すべき内容が膨大となっています。さらに、リハビリテーションは理学療法対象者の個々の特性によって到達目標が異なるため、学生は確実な基礎知識の上に十分な臨床実習を体験することが要求されています。このため4年間の大学教育を通して学習を段階的に進めていくことが重要となります。

本学科では、理学療法士として必要とされる知識と技術を、1年次より段階的に展開し、理学療法の知識と実際の体験を通して学べるように編成しています。また、拡大する理学療法学の応用範囲に合わせて選択科目を充実させ、学生の興味と進路に合致した学習が可能となるよう配慮しています。

1年次では、自然科学ならびに解剖学や生理学といった基礎医学を学びます。同時に、早期臨床実習の一環として理学療法対象者との交流を図り、学生自らが医療従事者の一員であることを自覚します。

2年次では、解剖・生理学を応用して運動学を確実に身に付け、理学療法利用者の病態を理解するために必要な臨床医学を学習します。その上で、理学療法評価学の検査項目や測定手技を、講義および臨床実習を通して習得します。

3年次の前期は、理学療法治療学や地域理学療法学の立場から臨床的問題点の解決過程を学び、チームワーク医療の重要性や予防医学への応用、さらに健康増進の社会的必要性について学習します。3年後半では、学生一人一人が理学療法の臨床応用が疑似体験できるよう、教員の指導のもとで理学療法技術論をとおして理学療法の適応方法と技術を深めます。

4年次では、豊橋市内をはじめとする各地の医療関連機関や臨床施設において、理学療法対象者を実際に担当し、個々の状態に合わせた理学療法の実践、即ち評価、診断、治療および効果判定を臨床指導者のもとで総合的に学習します。同時に、1～4年次の講義や臨床実習で学んだ理学療法学の学問体系を基に、理学療法学の専門分野を発展させるための研究方法を理学療法研究論・演習の過程で習得します。

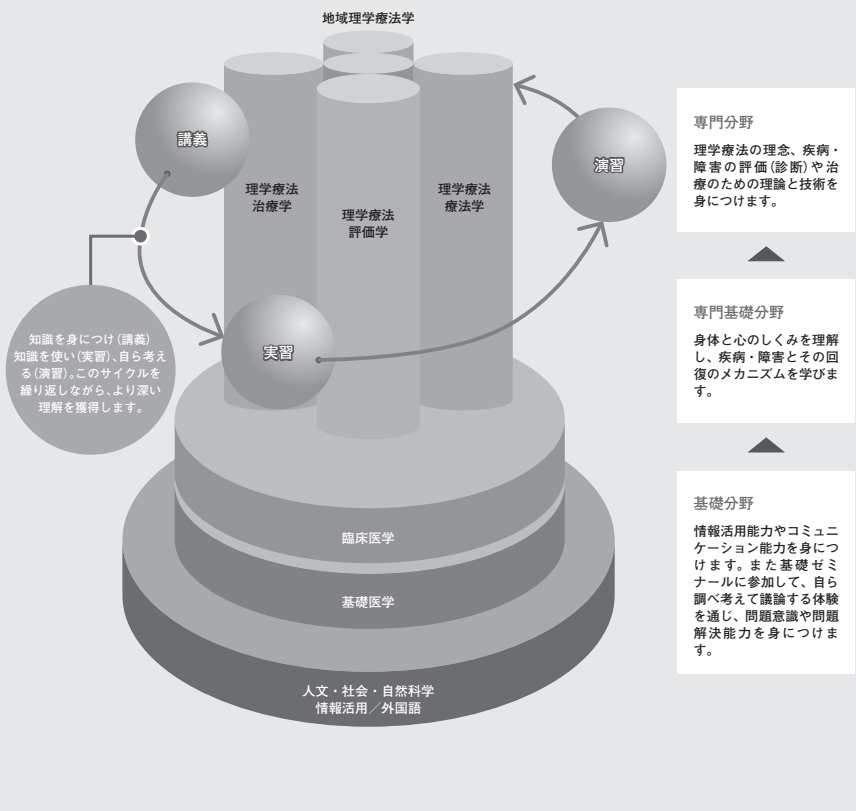


授業科目		ディプロマポリシー												
		医療専門職ならびにチーム医療の一員としてふさわしい倫理観と幅広い教養とコミュニケーション能力を身につけている。			専門領域ならびに関連した領域の課題を解決するために必要な情報を収集して適切に活用する能力や判断力を有している。			医療人として必要な基本的な知識を身につけている。		理学療法学の専門的な知識および技術を修得し、それらを実践する能力を有している。				
		倫理観	幅広い教養	コミュニケーション能力	情報活用能力	問題解決能力	専門連携能力	リハビリテーション理念	人体・機能と障害	疾患と障害	理学療法専門知識	理学療法技術	臨床実践能力	
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ						◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		解剖学Ⅱ						◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		生理学Ⅰ						◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		生理学Ⅱ						◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		解剖学実習			○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		生理学実習			○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		体表解剖学実習			○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		スポーツ生理学						◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		臨床心理学						◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		人間発達学									◎	◎	◎	
	教育心理学	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎					
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科系障害学						○	◎	◎	◎	◎	◎	
		運動器系障害学Ⅰ						○	◎	◎	◎	◎	◎	
		運動器系障害学Ⅱ						○	◎	◎	◎	◎	◎	
		神経系障害学Ⅰ						○	◎	◎	◎	◎	◎	
		神経系障害学Ⅱ						○	◎	◎	◎	◎	◎	
		老年学						○	◎	◎	◎	◎	◎	
		リハビリテーション医学						○	◎	◎	◎	◎	◎	
		病理学						○	◎	◎	◎	◎	◎	
	精神・心理とリハビリテーション						○	◎	◎	◎	◎	◎		
	リハビリテーションの理念(保健医療福祉と)	公衆衛生学	◎	◎	○			◎	◎	○	○			
		リハビリテーション概論	○	○	○			◎	◎	◎	○		○	
		医療統計学Ⅰ				◎	◎	◎	◎	◎			○	
		医療統計学Ⅱ				◎	◎	◎	◎	◎			○	
		感染予防	◎						◎	◎	◎	○		
		地域援助活動論	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	
		地域ケアシステム論	○			○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	福祉と住環境	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎		
	専門分野	基礎理学療法学	基礎運動学						◎	◎	◎	◎	◎	◎
			関節運動学						◎	◎	◎	◎	◎	◎
運動学実習					○	○	○		◎	◎	◎	◎	◎	
理学療法学概論								○	◎	◎	◎	◎	◎	
基礎理学療法実習					○	○	○		◎	◎	◎	◎	◎	
運動機能解析学						○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	
生体機能学						○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	
地域健康支援学						○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
安全管理論			◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	
理学療法教育管理学			◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	
教育原理		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					
理学療法評価学		理学療法評価学							◎	◎	◎	◎	◎	
		理学療法評価学実習			○	○	○		◎	◎	◎	◎	◎	
		神経理学療法評価学							◎	◎	◎	◎	◎	

授業科目		ディプロマポリシー															
		医療専門職ならびにチーム医療の一員としてふさわしい倫理と幅広い教養とコミュニケーション能力を身につけている。			専門領域ならびに関連した領域の課題を解決するために必要な情報を収集して適切に活用する能力や判断力を有している。				医療人として必要な基本的な知識を身につけている。			理学療法の専門的な知識および技術を修得し、それらを実践する能力を有している。					
		倫理観	幅広い教養	コミュニケーション能力	情報活用能力	問題解決能力	専門連携能力	リハビリテーション理念	人体構造・機能と発達	疾患と障害	理学療法専門知識	理学療法技術	臨床実践能力				
専門分野	理学療法評価学	神経理学療法評価学実習		○		○	○			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		運動器理学療法評価学								◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		運動器理学療法評価学実習			○	○	○				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		内科系理学療法評価学									◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		内科系理学療法評価学実習			○	○	○				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		動作分析学				○	○				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	理学療法治療学	理学療法基礎治療学Ⅰ									◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		理学療法基礎治療学Ⅱ	○						○		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		理学療法基礎治療学実習Ⅰ			○	○	○				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		理学療法基礎治療学実習Ⅱ	○		○	○	○	○	○		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		理学療法技術論	○							○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		理学療法技術論実習	○		○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		神経理学療法学	○							○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		神経理学療法学実習	○		○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		運動器理学療法学	○							○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		運動器理学療法学実習	○		○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		内科系理学療法学	○								◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		内科系理学療法学実習	○		○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		スポーツ理学療法学									○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		電気診断学									○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		リハビリテーション関連機器									○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	発達障害理学療法学	○								○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	発達障害理学療法学実習	○		○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	理学療法地域学	予防理学療法学	○								○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		多職種連携論	○								○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		アダプテッドスポーツ	○								○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	臨床実習	理学療法臨床見学実習	○		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		理学療法臨床検査測定実習	○		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		理学療法総合演習Ⅰ									◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		理学療法臨床評価実習	○		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		理学療法臨床総合実習	○		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		理学療法臨床専門実習	○		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	理学療法研究演習	理学療法研究									◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		理学療法研究Ⅰ									◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		理学療法研究Ⅱ									◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		理学療法演習Ⅰ									◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
理学療法演習Ⅱ										◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
理学療法セミナーⅠ										◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
理学療法セミナーⅡ										◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
理学療法総合演習Ⅱ				○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

# 保健医療学部 理学療法学科 カリキュラムツリー

## カリキュラム構造





### 3 学生行動指針

私たちは、リハビリテーションの一翼を担う理学療法士を目指す者の集まりです。

理学療法士は、すべてのヒトがより健康で安寧な生活が営めることを目標とする医療・福祉・保健のいろいろな領域で、中心的な役割を担うことになります。自分自身のみならず他者に対してもヒトが持つ能力を最大限に伸ばすべく、常に切磋琢磨する存在でありたいと思います。

私たちは自己を過小評価したり、過大評価したりすることなく常に見つめなおし、友人同士、実習施設の指導者、臨床実習の指導者、患者、家族等に対して誠実に接し、最大限の力を発揮するように努力する存在です。常に卒業後の社会人、職業人としてのイメージを持つに留まらず、自分にしかねない理学療法士のイメージを大切に持ち、かつ、育てる態度が求められます。

これらの達成のために、以下のことを学生の行動指針として掲げます。

- 自らの健康な体を維持し、増進することを心がけよう。  
学内全面禁煙です。  
階段の利用を推進します。
- 医療専門職を目指す学生として節度ある服装、容姿、言動等を心がけよう。  
清潔のために土足禁止区間を設けます。  
華美な化粧やアクセサリー類は避けます。  
清潔な容姿、髪型、服装を守り、手や爪は清潔を保ちます。  
教室、実習室を整理整頓し、定期的に掃除を行います。
- 時間・期日を厳守しよう。  
始業時間や集合の時間を守ります（10分前、5分前集合…を心がける）。  
レポートや報告書の提出期日を守ります。
- 理学療法学科の学生としての誇りを育てます。  
挨拶をきちんとし、周囲の方に常に誠意を持って対応します。  
障害のある人々には積極的に援助の手を差し出すようにします。
- 感謝の気持ちとそれに報いるための方法を見つけだそう。  
我々が理学療法を勉強するために提供されるすべてのことを感謝して受け入れ、そこから得た知識、技術を将来の仕事の中で必ず戻せるように、心がけます。

## 履修の基礎（理学療法学科）

### 1 卒業要件単位数

(2026 年度入学生)

	科目区分	卒業要件				自由	
		必修	選択	計	総計		
基礎教育科目	基礎分野	基礎教養ゼミナール	4	3	18		
		人間生活の質的向上に関する科目群	2				
		社会参加の前提に関する科目群					
		専門教育の基盤となる科目群	5				
		コンピュータリテラシに関する科目群	2				
		外国語科目群	2				
		健康の維持向上・管理に関する科目群					
		地域未来創造プログラム					
計	15	3					
専門教育科目	専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	14	4	110	128	
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	16				
		保健医療福祉とリハビリテーションの理念	7				
	専門分野	基礎理学療法学	8				1
		理学療法管理学	2				
		理学療法評価学	10				
		理学療法治療学	19				1
		地域理学療法学	3				
		臨床実習	21				
		理学療法研究・演習	2				2
計	102	4	4				
他大学開講科目						4	
合計		117	11	128		6	

### 2 履修登録単位数の上限（CAP 制）

1 年間において 44 単位、各学期 22 単位とする。

### 3 進級要件

当該年次までに配当されたすべての必修科目を修得すること。

#### 4 国家資格

理学療法士になるためには、理学療法士及び作業療法士法（昭和 40 年法律第 137 号）第 10 条の規定により、理学療法士及び作業療法士国家試験を受け、これに合格しなければなりません。理学療法士の国家試験は、毎年 3 月初めの日曜日に各理学療法士養成校の最終学年の学生で卒業が見込まれるものを対象として東京・大阪・名古屋をはじめとする 8 つの都道府県で実施されます。

出題内容としては、共通問題（解剖学、生理学、運動学、リハビリテーション医学、臨床医学など）と、理学療法専門問題（評価学、運動療法学、物理療法学、疾患別理学療法学など）があります。

# 教育課程表

## ①科目ナンバリング（体系的な教育課程の編成）について

### (1)科目ナンバリング

ナンバリング、あるいはコース・ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系的性を明示する仕組みです。大学内における授業科目の分類という意味を持っています。学問の分類や対象とするレベル（学年等）等を示すことで、学生が適切な授業科目を選択する際の参考となります。授業の位置づけがわかるように各科目に番号を振ることで、学士課程の科目全体を体系化でき、学生が授業を選びやすくすることを狙いとしています。

### (2)科目ナンバリング制度の学内基準

<u>PT</u>	<u>D</u>	<u>M</u>	<u>1</u>	<u>005</u>
学科／科	学修段階	位置づけ	配当学年	整理番号

本学のナンバリングは、まず、頭文字として、学科／科別にアルファベット2文字で分類しています。二つ目に、カリキュラムチャートにて分類された学修段階を英語表記（A～Z）で分類。次に、位置づけとして教養教育科目（L）と専門教育科目（M）を表記しています。そして、配当学年を表示し、最後に科目順に整理番号を表記しています。

理学療法学科 …………… PT Physical therapy

学修段階 …………… カリキュラムチャートにて分類された学修段階を英語表記（A～Z）で分類。

位置づけ …………… 教養教育科目：L  
専門教育科目：M

配当学年 …………… 1年生：1  
2年生：2  
3年生：3  
4年生：4  
大学院：5  
自由科目等：0

整理番号 …………… 001番～999番

理学療法学科 教育課程表 (授業科目開講一覧表)

※開講時期は、変更となる場合があるので、毎年シラバス等で確認すること。

2026 年度入学生

	科目コード	科目ナンバリング	保健医療学部 理学療法学科 科目名	V	単位数			開講時期(●)						
					必須	選択	自由	1年次	2年次	3年次	4年次			
								春	秋	春	秋	春	秋	
セミナール 基礎教養	9001	PTAL1001	基礎ゼミナールⅠ	×	1			●						
	9002	PTAL1002	基礎ゼミナールⅡ	×	1				●					
	9003	PTAL2013	基礎ゼミナールⅢ	△	1					●				
	9004	PTAL2014	基礎ゼミナールⅣ	△	1						●			
人間生活の質的向上に 関する科目群	9011	PTAL1003	心理学Ⅰ	△	2			●						
	9012	PTAL1004	心理学Ⅱ	△	2				●					
	9014	PTABL1001	国語表現法		2			●						
	9015	PTABL1002	文学論		2				●					
	9016	PTABL1003	哲学		2				●					
	9020	PTAL1005	ボランティア論		2			●						
	9026	PTABL1006	社会学概論		2			●						
社会参加の前提に関する 科目群	9027	PTABL1007	法学概論		2			●						
	9028	PTABL1008	市民社会と政治		2			●						
	9029	PTABL1009	社会思想史		2			●						
	9030	PTABL1010	消費経済論		2			●						
	9032	PTABL1012	社会政策		2			●						
	9034	PTABL1013	社会福祉学		2			●						
	9037	PTABL1011	環境科学		2				●					
基礎となる 専門教育の 科目群	9041	PTABL1014	生物学	△	2			●						
	9140	PTBCL1002	医療学入門	△	2				●					
	9045	PTABL1016	生命倫理		1			●						
	9022	PTABL1004	救命救急学	△	2			●						
コリネンテンス に関する 科目群	9055	PTABL1017	情報リテラシーⅠ		1			●						
	9056	PTABL1018	情報リテラシーⅡ		1				●					
	9058	PTABL2026	情報倫理		1					●				
外国語科目群	9061	PTABL1019	英語Ⅰ	△	2			●						
	9062	PTABL1020	英語Ⅱ	△	2				●					
	9066	PTAL1006	英語コミュニケーションⅠ		2			●						
	9067	PTAL1007	英語コミュニケーションⅡ		2				●					
	907A	PTAL1008	ドイツ語Ⅰ		2			●						
	907B	PTAL1009	ドイツ語Ⅱ		2				●					
	907C	PTAL1010	中国語Ⅰ		2			●						
	907D	PTAL1011	中国語Ⅱ		2				●					
	907E	PTAL1012	ポルトガル語		2				●					
	9087	PTABL2027	医学英語	△	2					●				
健康の維持 向上管理に 関する科目群	909A	PTABL1024	スポーツⅠ		1			●						
	9092	PTABL1021	スポーツⅡ		1				●					
	9095	PTABL1022	健康科学Ⅰ		2			●						
	9094	PTABL1023	健康科学Ⅱ		2				●					
地域未来 創造 プログラム	909B	PTABL2001	東三河創造入門	×	2					●				
	909C	PTABL2002	東三河の歴史風土と文化		1					●				
	909D	PTABL2003	データサイエンス入門		2					●				
専門基礎分野	9101	PTCM1001	解剖学Ⅰ	△	2			●						
	9102	PTCM1002	解剖学Ⅱ	△	2				●					
	9105	PTCM1003	生理学Ⅰ	△	2			●						
	9106	PTCM1004	生理学Ⅱ	△	2				●					
	9109	PTCM1005	解剖学実習	△	1			●						
	9111	PTCM1007	生理学実習	×	1				●					
	9110	PTCM1006	体表解剖学実習	×	1				●					
	9114	PTCM2008	スポーツ生理学	○	2					●				
	9115	PTCM2009	臨床心理学	△	2						●			

	科目コード	科目ナンバリング	保健医療学部 理学療法学科 科目名	V	単位数			開講時期(●)											
					必須	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次					
								春	秋	春	秋	春	秋	春	秋				
専門基礎分野	人の発達 及び心身の 健康の維持	9118	PTCM2010	人間発達学	○	1					●								
		9119	PTBCM3012	教育心理学			2						●						
	疾病と障害の 成り立ち 及び回復過程の 促進	9123	PTCM2011	内科系障害学	△	2					●								
		9127	PTCM2012	運動器系障害学Ⅰ		2					●								
		9128	PTCM2013	運動器系障害学Ⅱ		2						●							
		9129	PTCM2014	神経系障害学Ⅰ	△	2					●								
		9130	PTCM2015	神経系障害学Ⅱ	△	2						●							
		9138	PTCM2016	リハビリテーション医学	△	2					●								
		9135	PTCM2017	病理学		2								●					
		9136	PTCM3019	精神・心理とリハビリテーション		1								●					
		リハビリテーションの 理念	9141	PTBCM1003	公衆衛生学	△	2			●									
			9143	PTBCM1004	リハビリテーション概論	△	2			●									
	9200		PTBCM1005	医療統計学Ⅰ	○	2					●								
	9202		PTBCM1007	医療統計学Ⅱ	△	2						●							
	9044		PTBCM2006	感染症予防		1					●								
	9021		PTBCM3008	地域援助活動論		2									●				
	9264		PTCDM3007	地域ケアシステム論		2										●			
	9023	PTBCM1001	福祉と住環境		2			●											
	専門分野	基礎理学療法学	9205	PTCDM1001	基礎運動学	○	2				●								
9207			PTCDM2005	関節運動学	△	2					●								
9204			PTCDM1004	運動学実習	×	1					●								
9208			PTCDM1002	理学療法概論	○	2			●										
920A			PTCDM1003	基礎理学療法実習	×	1			●										
920B			PTDM3027	運動機能解析学		1										●			
920C			PTDM3028	生体機能学		1										●			
920D			PTDM3029	地域健康支援学		1										●			
理学療法 管理			9046	PTBCM3009	安全管理論		1										●		
			920F	PTBCM3010	理学療法教育管理学		1										●		
		920G	PTBCM3011	教育原理		2					●								
理学療法評価学		9213	PTDM2005	理学療法評価学	○	2					●								
		9214	PTDM2006	理学療法評価学実習	×	1					●								
		9217	PTDM2007	神経理学療法評価学	○	1						●							
		9218	PTDM2008	神経理学療法評価学実習	×	1						●							
		921A	PTDM2010	運動器理学療法評価学	○	1						●							
		921B	PTDM2011	運動器理学療法評価学実習	×	1						●							
		921C	PTDM3030	内科系理学療法評価学		1										●			
		921D	PTDM3031	内科系理学療法評価学実習		1										●			
		921E	PTDM3032	動作分析学		1											●		
	理学療法治療学	922A	PTDM1003	理学療法基礎治療学Ⅰ	○	1					●								
922B		PTDM1004	理学療法基礎治療学Ⅱ	○	1						●								
922C		PTDM2012	理学療法基礎治療学実習Ⅰ	×	1					●									
922D		PTDM2013	理学療法基礎治療学実習Ⅱ	×	1						●								
9227		PTDM3015	理学療法技術論		2											●			
9229		PTDM3016	理学療法技術論実習		1											●			
9242		PTDM3017	神経理学療法学		2										●				
9243		PTDM3018	神経理学療法学実習		1										●				
9246		PTDM3019	運動器理学療法学		2										●				
9247		PTDM3020	運動器理学療法学実習		1										●				
924A	PTDM3033	内科系理学療法学		2											●				
924B	PTDM3034	内科系理学療法学実習		1											●				

	科目 コード	科目ナンバリン グ	保健医療学部 理学療法学科 科目名	V	単位数			開講時期(●)								
					必須	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次		
								春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
専門分野	理学療法治療学	9255	PTDM3024	スポーツ理学療法学		1							●			
		9252	PTDM3021	電気診断学		1							●			
		9257	PTDM3025	リハビリテーション関連機器		1							●			
		9253	PTDM3022	発達障害理学療法学	2							●				
		9254	PTDM3023	発達障害理学療法学実習	1							●				
	地域理学療法学	9262	PTCDM3006	予防理学療法学	2								●			
		926B	PTCDM3008	多職種連携論	1								●			
		926A	PTDM2014	アダプテッドスポーツ	2							●				
	臨床実習	9278	PTDM2009	理学療法臨床見学実習	×	1					●					
		9279	PTDM3026	理学療法臨床検査測定実習	3									●		
		9284	PTDM4038	理学療法総合演習Ⅰ	1										●	
		927D	PTDM4040	理学療法臨床評価実習	7										●	
		927E	PTDM4041	理学療法臨床総合実習	7											●
		927C	PTDM4042	理学療法臨床専門実習	2											●
	理学療法研究・演習	928A	PTDM3035	理学療法研究	1								●			
		928B	PTDM3036	理学療法研究Ⅰ		1								●		
		928C	PTDM4043	理学療法研究Ⅱ		1									●	
		928D	PTDM3037	理学療法演習Ⅰ		1								●		
		928E	PTDM4044	理学療法演習Ⅱ		1									●	
		928F		理学療法セミナーⅠ			1							●		
928G			理学療法セミナーⅡ			1								●		
9285		PTDM4039	理学療法総合演習Ⅱ	1											●	

保健医療学部

看護学科

# 3つのポリシー・カリキュラムの特色

## 1 3つのポリシー

### 教育理念・目標

生命の尊厳と個人の尊重を基盤とし、創造性豊かな人間性を形成するとともに、保健医療福祉領域における看護学の役割と機能を理解し、国際的視野をもって地域社会の健康に貢献できる看護職者の育成を目標とする。

### アセスメントポリシー（学修成果の評価の方針）

本学科の学修成果の評価の方針は、学科の教育目標を踏まえ、具体的に以下のとおりとする。

アセスメントポリシーは、ディプロマポリシーで示された能力についての学修成果を測定する時期、方法等について定めた方針である。

ディプロマポリシーの到達状況の測定が主だが、学生個人についての評価、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーの効果検証を含む。

### ①アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本学科では、看護に深い関心を持つ次のような人材を求め、入学者選抜を実施する。

- (1)多様な価値観を受け入れることができる人
- (2)思いやりをもって人にかかわることができる人
- (3)他者と協働しながら地域社会に貢献する意欲がある人
- (4)高等学校等で学ぶ知識・技能（特に、国語、英語、数学、理科）を身につけている人
- (5)課題解決に向けて思考し、行動できる人
- (6)看護学を学ぶ意志を持ち、主体的に学修に取り組むことができる人

### ②カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学科では、学位授与の方針を達成できるよう、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施している。

- (1)カリキュラム編成の枠組みは、基礎科目、専門基礎科目、専門科目の3つに区分し、ディプロマ・ポリシーの能力獲得を目指す内容とする。
- (2)科目の編成については以下のとおりである。
  - ①人間や社会を広く深く理解するため、基礎科目として「基礎教養ゼミナール」「人間と生活」「情報と言語」「人間と健康」「地域未来創造プログラム」の科目を配置する。
  - ②心身の健康と健康課題の回復過程を理解するため、専門基礎科目として「人間の理解」「健康の理解」「環境の理解」の科目を配置する。
  - ③対象の成長発達と機能および健康の状態、看護実践の場の特徴から学ぶ専門科目として、9つの領域（基礎看護学、在宅看護学、成熟期看護学、母性看護学、小児看護学、精神看護学、看護の統合、公衆衛生看護学、助産学）に区分し、科目を配置する。
- (3)看護の対象となる人々をあらゆる側面から統合的に理解するため、幅広い教養を身につける基礎科目を基盤とし、専門科目の演習・実習において看護の対象との援助関係を形成する機会を提供する。（DP1）

- (4) 専門科目全般を通じて、看護職者として必要な倫理性を深め、人々の多様な価値観を受け入れ尊重する姿勢を獲得できる機会を提供する。(DP2)
- (5) 科学的根拠に基づき看護実践の基盤となる、からだの構造と機能、疾病・治療に関する知識を修得し、看護を実践できる能力が身に着くよう科目を配置する。(DP3)
- (6) 1年次より論理的思考・クリティカルシンキングを学び、看護学研究の科目及び各専門科目を通して、生涯にわたり看護の本質を探究できる基礎的能力が身に着くよう科目を配置する。(DP4)
- (7) 多様な保健医療福祉の場において、多職種と連携して看護の機能を発揮できる知識・技術を修得できるよう科目を配置する。(DP5)
- (8) グローバル化する社会の動向をふまえ、多様な文化や価値観を受け入れ、看護を創造し、広く地域の健康に貢献できるよう科目を配置する。(DP6)
- (9) 学生の主体的な学びを促進するため、グループワークやフィールドワーク、アクティブラーニングなどの教育方法を取り入れる。
- (10) 学修成果を把握するため、定期的に学修行動に関する調査等を行い、学年進行に伴い獲得している該当知識・能力と学修支援の評価を行う。実習については、ループブックを用いて学生自身が自己の学修成果のリフレクションを行う。

### ④ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

保健医療学部看護学科の教育目標は、生命の尊厳と人間の尊重を基盤とし、創造性豊かな人間性を形成するとともに、保健医療福祉領域における看護学の役割と機能を理解し、国際的視野をもって地域社会の健康に貢献できる看護職者の育成である。

そのため、以下の能力を修得した者に学位を授与する。

#### <ディプロマ・ポリシー>

- (1) 看護の対象となる人々をあらゆる側面から統合的に理解し、援助関係を形成する能力
- (2) 看護職者として必要な倫理性を兼ね備え、人々の多様な価値観を受け入れ尊重する姿勢
- (3) 根拠に基づきあらゆる対象に適切な看護を実践する能力
- (4) 生涯にわたり研究的視点を持ち、看護の本質を探究できる基礎的能力
- (5) 保健医療福祉チームの一員として、看護の役割を理解し、協働する能力
- (6) グローバル化する社会の動向をふまえ、新たな看護を創造し、広く地域の健康に貢献できる基礎的能力

## 2 カリキュラムの特色

### 保健医療学部 看護学科 カリキュラムマップ

学修成果 ◎:強く関連 ○:関連 △:やや関連

		科目名	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
			看護の対象となる人々をあらゆる側面から統合的に理解し、援助関係を形成する能力	看護職者として必要な倫理性を兼ね備え、人々の多様な価値観を受け入れ尊重する姿勢	根拠に基づきあらゆる対象に適切な看護能力	生産にわたり研究的視点を持ち、看護の本質を探究できる基礎的能力	保健医療福祉チームの一員として、看護の役割を理解し、協働する能力	グローバル化する社会の動向をふまえ、新たな看護を創造し、広く地域の健康に貢献できる基礎的能力
基礎科目	ゼミナール 基礎教養	基礎ゼミナールI	△	○		◎	△	
		基礎ゼミナールII	△	○		◎		△
	人間と生活	倫理学★	◎	○				
		哲学	◎	○				
		心理学概論	◎	○				
		人間関係論	◎	○			△	
		社会学概論	◎	○				△
		社会福祉学☆	◎	○				△
		憲法	◎	○				
		地球の生態学	◎	○				△
		生命科学の基礎	◎		○			
		文化人類学	◎	○				△
	国語表現法	◎			△			
	現代芸術論	◎						
	ボランティア論						○	◎
	情報と言語	情報リテラシーI	◎		○			
		情報リテラシーII	◎		○			
		プレゼンテーション技法	◎				△	
		英語I	◎					○
		英語II	◎					○
英語コミュニケーションI		◎					○	
英語コミュニケーションII		◎					○	
英語コミュニケーションIII		◎					○	
ドイツ語入門I		◎					○	
ドイツ語入門II		◎					○	
中国語入門I	◎					○		
中国語入門II	◎					○		
看護・医療英語	◎						○	
人間と健康	スポーツI	◎				△		
	スポーツII	◎				△		
	健康科学	◎				△		
プログラム 地域未来創造	東三河創造入門		△				◎	
	東三河の歴史風土と文化		△				◎	
	データサイエンス入門	◎			△			
専門基礎科目	人間の理解	からだの構造と機能I	○		◎			
		からだの構造と機能II			◎			
		臨床心理学	○		◎			
		社会システムと人間			◎		△	
	健康の理解	臨床薬理学	○		◎			
		臨床栄養学	○		◎			
	生化学	○		◎				

☆公衆衛生看護学の読み替え科目 ★助産学の読み替え科目

		科目名	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
			看護の対象とあ なる人々をか ら総合的に理 解し、援助関 係を形成する 能力	看護職者とし て必要な倫理 性を兼ね備え、 人々の多様な 価値観を受け 入れ尊重する 姿勢	根拠に基づき あらゆる対象 に適切な看護 を实践する能 力	生涯にわたる 研究的視点と もち、看護の 本質を探究で きる基礎的能 力	保健医療福祉 チームの一員 として、看護 の役割を理解 し、協働する 能力	グローバル化 する社会の動 向を踏まえ、 新たな看護を 創造し広く地 域の健康に貢 献できる基礎 的能力
専門基礎科目	健康の理解	病原体と感染	○		◎			
		病態と治療の基礎	○		◎			
		病態と治療Ⅰ(内科系)	○		◎			
		病態と治療Ⅱ(内科系)	○		◎			
		病態と治療Ⅲ(外科系)	○		◎			
		病態と治療Ⅳ(小児科)	○		◎			
		病態と治療Ⅴ(産科・婦人科)	○		◎			
	病態と治療Ⅵ(精神科)	○		◎				
	環境の理解	公衆衛生学			◎			○
		保健医療福祉行政論☆			◎			○
		保健医療統計学Ⅰ☆			◎	○		
		保健医療統計学Ⅱ☆			◎	○		
		環境と人間			◎			○
	専門科目	基礎看護学	看護学原論	○	◎			△
看護理論概説			○	◎	△			
看護コミュニケーション論			◎	△	○		○	
ヘルスアセスメント論★			○	○	◎			
基礎看護学方法論Ⅰ			◎	○	○			
基礎看護学方法論Ⅱ			◎	○	○			
基礎看護学方法論Ⅲ			◎	○	○			
基礎看護学実習Ⅰ			○	○	◎		△	
基礎看護学実習Ⅱ		○	○	◎		△		
在宅看護学		在宅看護学原論☆	○	◎			△	△
		在宅看護学方法論☆	◎	○	○		△	
		在宅看護学演習Ⅰ	○	○	◎		△	
		在宅看護学演習Ⅱ	○	△	◎		△	
		在宅看護学実習	○	○	◎		△	
成熟期看護学		成熟期看護学原論Ⅰ(成人)	○	◎			△	△
		成熟期看護学原論Ⅱ(老年)	○	◎			△	△
		成熟期看護学方法論Ⅰ	◎	○	○		△	
		成熟期看護学方法論Ⅱ	◎	○	○		△	
		成熟期看護学方法論Ⅲ	◎	○	○		○	
		成熟期看護学演習Ⅰ	○	○	◎		△	
		成熟期看護学演習Ⅱ	○	○	◎		△	
		成熟期看護学演習Ⅲ(老年)	○	○	◎		△	
		成熟期看護学実習Ⅰ(老年)	○	○	◎		○	△
		成熟期看護学実習Ⅱ	○	○	◎		○	△
		成熟期看護学実習Ⅲ	○	○	◎		○	△
		成熟期看護学実習Ⅳ	○	○	◎		○	△
	成熟期看護学実習Ⅴ	○	○	◎		○	△	
成熟期看護学実習Ⅵ(老年)	○	○	◎		○	△		
看護学 母性	母性看護学原論		◎			△	○	
	母性看護学方法論	◎		○				

☆公衆衛生看護学の読み替え科目 ★助産学の読み替え科目

		科目名	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
			看護の対象となる人々をあらゆる側面から総合的に理解し、援助関係を形成する能力	看護職者として必要な倫理性を兼ね備え、人々の多様な価値観を受け入れ尊重する姿勢	根拠に基づきあらゆる対象者に適切な看護を实践する能力	生涯にわたる研究的視点をもち、看護の本質を探究できる基礎的能力	保健医療福祉チームの一員として、看護の役割を理解し、協働する能力	グローバル化する社会の動向を踏まえ、新たな看護を創造し広く地域の健康に貢献できる基礎的能力
専門科目	看護学	母性看護学演習	△	△	◎			
		母性看護学実習		○	◎			
	小児看護学	小児看護学原論	○	◎			○	○
		小児看護学方法論	◎	○	○		○	△
		小児看護学演習	○	○	◎		△	
		小児看護学実習Ⅰ	○	○	◎		△	
		小児看護学実習Ⅱ	○	○	◎		○	△
		精神看護学原論	○	◎			△	△
	精神看護学	精神看護学方法論	◎	○	○		△	
		精神看護学演習	○	○	◎		△	
		精神看護学実習	○	○	◎		○	△
		看護管理学★					○	◎
	看護の統合	看護倫理☆★		◎		△	○	△
		看護教育学	△		○		○	◎
		看護学研究Ⅰ		○	○	◎		
		看護学研究Ⅱ		○	○	◎		
		家族看護学☆★	○	○				◎
		災害看護学	○	○		◎	△	
		国際看護学					○	◎
		エンドオブライフケア論	△	○	○			◎
統合実習		○	○	○		◎	○	
公衆衛生看護学		疫学	◎		○		△	
		学校保健学	○	◎			△	
		産業保健学	○	◎			△	
	公衆衛生看護学原論	○	◎	○		△		
	公衆衛生看護学方法論Ⅰ	◎	○	○		△		
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	◎	○	○		△		
	公衆衛生看護学演習Ⅰ	○	○	◎		△		
	公衆衛生看護学演習Ⅱ	○	○	◎		△		
	公衆衛生看護管理論		○	○		◎	△	
	公衆衛生看護学実習Ⅰ(行政)	○	○	◎		○	△	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校・産業)	○	○	◎		○	△	
	助産学	地域母子保健	○	◎				
助産学原論		○	◎		△			
助産診断・技術学Ⅰ		◎	○	○		○		
助産診断・技術学Ⅱ		◎		○		○		
助産診断・技術学Ⅲ		◎		○		○		
助産診断・技術学Ⅳ		◎	○	○		○		
助産技術学		◎	○	◎		○		
助産管理			○	○		◎		
助産学実習Ⅰ		○	○	◎			○	
助産学実習Ⅱ		○	○	◎			○	
助産学実習Ⅲ		○	○	◎			○	

☆公衆衛生看護学の読み替え科目 ★助産学の読み替え科目

### 3 大学生生活を始めるにあたって

#### ①大学で学ぶということ

##### (1)看護学の特長

看護学は生命、人間を対象とする学問であり、ヒューマンケア、すなわち看護の対象となる方々の人権の尊重を基盤とした健康生活への支援です。また、正確な知識・技術と優しさと思いやりの心をもって対象のニーズに応える実践学でもあります。

##### (2)大学生の生涯発達上の特徴

青年期から成人期は自分を振り返り、新しい段階での計画と飛躍を考える時期です。

「自己決定」

人生観や進路の選択など、他の人に決めてもらうのではなく、自己決定を求められる機会が多くなる時期です。

「精神的自立」

親から自立して、仕事、社会的役割、新しい居場所を探そうという精神的な面での分離・独立の作業をする時期です。

「社会的責任」

青年期から成人期に入るにつれて、より多くの社会的役割を担う必要がでてきます。

#### ②健康な生活を送る

大学生生活を有意義に過ごし心身ともに健康的に過ごすことが大切です。健康的に過ごすために、以下のことに注意しましょう。

##### (1)規則正しい生活習慣

##### (2)飲酒と喫煙

20歳未満の者の飲酒・喫煙は法律で禁じられています。

※大学敷地内は全面禁煙です。

##### (3)心の健康

心身の健康や学生生活等不安を感じたときは、健康・相談センター、スクールカウンセラーを利用しましょう。

※利用については「SCHEDULE BOOK」内、「健康管理について」を参照してください。

#### 《チューター制度》

学生生活を有意義に過ごすことができるようチューター制を設けています。チューターである教員は、学生が学修活動に意欲的に取り組むことができるよう支援していきます。学修や学生生活について不安があれば早めにチューターに相談してください。

# 履修の基礎（看護学科）

## 1 卒業要件単位数

(2026年度入学生)

	科目区分	卒業要件			自由科目 (保健師対応)	自由科目 (助産師対応)
		必修	選択	計		
基礎科目	基礎教養ゼミナール	2	12	28		
	人間と生活	8			※1 2	※5 2
	情報と言語	4				
	人間と健康	2				
	地域未来創造プログラム					
	計	16			12	2
専門基礎科目	人間の理解	5		98		
	健康の理解	14				
	環境の理解	7			※2 4	
専門科目	基礎看護学	15			※6 2	
	在宅看護学	8		※3 4		
	成熟期看護学	20				
	小児看護学	6				
	母性看護学	6				
	精神看護学	6				
	看護の統合	9	2	※4 2	※7 3	
	公衆衛生看護学			19		
	助産学				25	
	計	96	2	29	30	
			126	31	32	

### 【保健師対応科目】

社会福祉学（※1）、保健医療福祉行政論・保健医療統計学Ⅰ・保健医療統計学Ⅱ（※2）、在宅看護学原論・在宅看護学方法論（※3）、家族看護学・看護倫理（※4）は公衆衛生看護学への読み替え科目です。

### 【助産師対応科目】

倫理学（※5）、ヘルスアセスメント論（※6）、看護管理学・家族看護学・看護倫理（※7）は助産学への読み替え科目です。

## 2 履修登録単位数の上限（CAP制）

1年間に履修できる単位数の上限を48単位としていますが、集中講義は含みません。また、保健師選択コースおよび助産師選択コースの学生は48単位を超えて履修登録できます。

### 3 進級要件

次の学年に進級するためには、各学年に配当されている必修科目の単位をすべて修得していることを要件としています。

### 4 資格について

#### ①保健師選択コース 学生数と選抜方法

- (1)保健師の養成人数 …… 13名以内
- (2)選抜時期 …… 2年次秋学期
- (3)受験要件 …… 2年次までに予定された「基礎科目（必修）」、「専門基礎科目（必修）」及び「専門科目（必修）」の全ての単位を修得していることを要件とします。
- (4)選抜方法 …… 2年次秋学期までの「専門基礎科目（必修）」及び「専門科目（必修）」の成績と面接結果を総合的に判断し、合否を判定します。  
※選抜時期等の詳細は、UNIVERSAL PASSPORT 等でお知らせします。

#### ②養護教諭2種免許状の取得について

保健師国家試験に合格した人は、申請により養護教諭2種免許状を得ることができます。

#### ③助産師選択コース 学生数と選抜方法

- (1)養成人数 …… 6名以内
- (2)選抜時期 …… 2年次秋学期
- (3)受験要件 …… 2年次までに予定された「基礎科目（必修）」、「基礎科目（選択）」の「倫理学」、「専門基礎科目（必修）」及び「専門科目（必修）」の全ての単位を修得していることを要件とします。
- (4)選抜方法 …… 2年次秋学期までの「専門基礎科目（必修）」及び「専門科目（必修）」の成績と面接結果を総合的に判断し、合否を判定します。  
※選抜時期等の詳細は、UNIVERSAL PASSPORT 等でお知らせします。

### 5 臨地実習の履修に関わる検査と予防接種

臨地実習の履修については、感染症検査および一部予防接種が必要です。

#### 臨地実習に必要な検査

検査項目	検査時期
麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎・ B型肝炎検査（HBs 抗原・抗体）	1年次 4月上旬の 健康診断時（血液検査）

※予防接種の詳細は別途お知らせしますが、1年次の実習前までに接種を完了できるように進めていきます。

## 6 国家試験について

### ①受験資格

本学科において所定の教育課程を修了することにより、それぞれ看護師・保健師・助産師（保健師・助産師は希望者の中から選抜）の国家試験の受験資格が与えられます。国家試験を受験し、合格して初めて看護師・保健師・助産師の資格を得ることができます。

看護師・保健師・助産師の資格は、保健師助産師看護師法によって定められています。

### ②受験手続

厚生労働省より毎年8月に出される「看護師国家試験の施行」、「保健師国家試験の施行」、「助産師国家試験の施行」の内容に従って、受験手続を行います。

### ③試験時期

看護師国家試験、保健師国家試験、助産師国家試験は年1回、2月の中旬に行われます。

# 教育課程表

## ①科目ナンバリング（体系的な教育課程の編成）について

### (1)科目ナンバリング

ナンバリング、あるいはコース・ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系的性を明示する仕組みです。大学内における授業科目の分類という意味を持っています。学問の分類や対象とするレベル（学年等）等を示すことで、学生が適切な授業科目を選択する際の参考となります。授業の位置づけがわかるように各科目に番号を振ることで、学士課程の科目全体を体系化でき、学生が授業を選びやすくすることを狙いとしています。

### (2)科目ナンバリング制度の学内基準

<u>NR</u>	<u>D</u>	<u>M</u>	<u>1</u>	<u>005</u>
学科／科	学修段階	位置づけ	配当学年	整理番号

本学のナンバリングは、まず、頭文字として、学科／科別にアルファベット2文字で分類しています。二つ目に、カリキュラムチャートにて分類された学修段階を英語表記（A～Z）で分類。次に、位置づけとして教養教育科目（L）と専門教育科目（M）を表記しています。そして、配当学年を表示し、最後に科目順に整理番号を表記しています。

看護学科…………… NR Department of Nursing

学修段階…………… カリキュラムチャートにて分類された学修段階を英語表記（A～Z）で分類。

位置づけ…………… 教養教育科目：L  
専門教育科目：M

配当学年…………… 1年生：1  
2年生：2  
3年生：3  
4年生：4  
大学院：5  
自由科目等：0

整理番号…………… 001番～999番

# 看護学科 教育課程表 (授業科目開講一覧表)

※開講時期は、変更となる場合があるので、毎年シラバス等で確認すること。

2026 年度入学生

	科目コード	保健医療学部 看護学科 科目名	保健師	助産師	配当年次	V	単位数			時間数	開講時期(●)							
							必修	選択	自由		1年次		2年次		3年次		4年次	
											春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
基礎教養	9501	基礎ゼミナールⅠ			1前		1			30	●							
	9502	基礎ゼミナールⅡ			1前		1			30	●							
人間と生活	9513	倫理学★		○	1後			2		30		●						
	9516	哲学			1後			2		30		●						
	951A	心理学概論			1前			2		30	●							
	9512	人間関係論			1後			2		30		●						
	9526	社会学概論			1後			2		30		●						
	9528	社会福祉学☆	○		1前		2			30	●							
	9532	憲法			1前		2			30	●							
	9530	地球の生態学			1前			1		15	●							
	953A	生命科学の基礎			1前		2			30	●							
	9521	文化人類学			1前			2		30	●							
	9523	国語表現法			1前		2			30	●							
	9517	現代芸術論			2後			2		30			●					
	9522	ボランティア論			1前			1		30	●							
	基礎科目	9534	情報リテラシーⅠ			1前		1			30	●						
9535		情報リテラシーⅡ			1後		1			30		●						
9538		プレゼンテーション技法			1後			2		30		●						
9539		英語Ⅰ			1前		1			30	●							
9540		英語Ⅱ			1後			2		30		●						
9541		英語コミュニケーションⅠ			1前			2		30	●							
9542		英語コミュニケーションⅡ			1後			2		30		●						
9543		英語コミュニケーションⅢ			2前			2		30			●					
9544		ドイツ語入門Ⅰ			1前			2		30	●							
9545		ドイツ語入門Ⅱ			4前			2		30					●			
9546		中国語入門Ⅰ			1前			2		30	●							
9547		中国語入門Ⅱ			4前			2		30					●			
9548		看護・医療英語			2前			1		30			●					
人間と健康		9551	スポーツⅠ			1後		1			30		●					
	9552	スポーツⅡ			2前			1		30			●					
	9555	健康科学			1前		1			15	●							
地域未来 プログラム	9560	東三河創造入門			2後			2		30				●				
	9519	東三河の歴史風土と文化			2後			1		15				●				
	9561	データサイエンス入門			2後			2		30				●				
専門基礎科目	960A	からだの構造と機能Ⅰ			1前		1			30	●							
	960B	からだの構造と機能Ⅱ			1後		2			30		●						
	960C	臨床心理学			2後		1			15			●					
	960D	社会システムと人間			1前		1			15	●							
	961A	臨床薬理学			2前		1			30			●					
	961B	臨床栄養学			1後		1			15		●						
	9609	生化学			1後		1			30	●							
	961D	病原体と感染			1後		1			15	●							
	9651	病態と治療の基礎			1後		1			15		●						
	9652	病態と治療Ⅰ(内科系)			1後		2			30		●						
	9653	病態と治療Ⅱ(内科系)			2前		2			30			●					
	9654	病態と治療Ⅲ(外科系)			2前		2			30			●					
	9658	病態と治療Ⅳ(小児科)			2前		1			15			●					
	9656	病態と治療Ⅴ(産科・婦人科)			2後		1			15			●					
9659	病態と治療Ⅵ(精神科)			2前		1			15			●						

[公衆衛生看護学]の読み替え科目は☆の12単位です  
 [助産学]の読み替え科目は★の7単位です

	科目 コード	保健医療学部看護学科 科目名	保健師	助産師	配 当 年 次	V	単位数			時 間 数	開講時期(●)							
							必 修	選 択	自 由		1年次		2年次		3年次		4年次	
											春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
専門基礎科目	環境の理解	9621	公衆衛生学			1後		2			30		●					
		9627	保健医療福祉行政論☆	○		2後		2			30			●				
		9628	保健医療統計学Ⅰ☆	○		2前		1			15			●				
		9629	保健医療統計学Ⅱ☆	○		2後		1			15				●			
		962A	環境と人間			1前		1			15	●						
基礎看護学	970A	看護学原論			1前		2			30	●							
	970B	看護理論概説			1後		1			15		●						
	970F	看護コミュニケーション論			1後		2			30		●						
	970E	ヘルスアセスメント論★		○	2前		2			60			●					
	980D	基礎看護学方法論Ⅰ			1後		2			60		●						
	980E	基礎看護学方法論Ⅱ			2前		2			60			●					
	980F	基礎看護学方法論Ⅲ			2後		1			30				●				
	9861	基礎看護学実習Ⅰ			1後		1			45		●						
	9862	基礎看護学実習Ⅱ			2後		2			90				●				
	在宅看護学	984F	在宅看護学原論☆		○	1後		2			30		●					
		984G	在宅看護学方法論☆		○	2前		2			30			●				
		984C	在宅看護学演習Ⅰ			2後		1			30				●			
		984D	在宅看護学演習Ⅱ			3前		1			30					●		
		986C	在宅看護学実習			3後		2			90						●	
	成熟期看護学	988P	成熟期看護学原論Ⅰ			2前		1			15			●				
		988Q	成熟期看護学原論Ⅱ			2前		1			15			●				
988R		成熟期看護学方法論Ⅰ			2後		2			30				●				
988S		成熟期看護学方法論Ⅱ			2後		2			30				●				
988D		成熟期看護学方法論Ⅲ			2後		2			30				●				
988E		成熟期看護学演習Ⅰ			3前		1			30					●			
988F		成熟期看護学演習Ⅱ			3前		1			30					●			
988G		成熟期看護学演習Ⅲ			3前		1			30					●			
988I		成熟期看護学実習Ⅰ			2後		1			45				●				
988J		成熟期看護学実習Ⅱ			2後		1			45				●				
988T		成熟期看護学実習Ⅲ			3後		1			45						●		
988L		成熟期看護学実習Ⅳ			3後		2			90						●		
988M		成熟期看護学実習Ⅴ			3後		2			90						●		
988N		成熟期看護学実習Ⅵ			3後		2			90						●		
小児看護学	983A	小児看護学原論			2前		1			15			●					
	983B	小児看護学方法論			2後		2			30				●				
	9833	小児看護学演習			3前		1			30					●			
	983C	小児看護学実習Ⅰ			2後		1			45				●				
	983D	小児看護学実習Ⅱ			3後		1			45						●		
母性看護学	982A	母性看護学原論			2前		1			15			●					
	982B	母性看護学方法論			2前		2			30			●					
	9828	母性看護学演習			2後		1			30				●				
	9866	母性看護学実習			3後		2			90						●		
精神看護学	986D	精神看護学原論			2前		1			15			●					
	986E	精神看護学方法論			2後		2			30				●				
	9838	精神看護学演習			3前		1			30					●			
	9868	精神看護学実習			3後		2			90						●		
看護の統合	9745	家族看護学☆★		○ ○	2後		1			15				●				
	974D	看護倫理☆		○	3前		1			15					●			
	9846	看護学研究Ⅰ			3前		1			30					●			
	9847	看護学研究Ⅱ			4通		1			30							●	
	9747	災害看護学			4前				1	15							●	

[公衆衛生看護学]の読み換え科目は☆の12単位です  
[助産学]の読み替え科目は★の7単位です

	科目 コード	保健医療学部 看護学科 科目名	保健 師	助産 師	配 当 年 次	V	単位数			時 間 数	開講時期(●)									
							必 修	選 択	自 由		1年次		2年次		3年次		4年次			
											春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
看護の統 合	9746	国際看護学			4前			1		15								●		
	974A	看護管理学★		○	4後			1		15									●	
	974B	看護教育学			4後			1		15									●	
	974C	エンドオブライフケア論			4後			1		15									●	
	978E	統合実習			4前			3		135									●	
公衆衛生看護学 *1	9622	疫学	○		3前				2	30									●	
	9623	学校保健学	○		3前				1	15									●	
	9624	産業保健学	○		3前				1	15									●	
	978A	公衆衛生看護学原論	○		3前				2	30									●	
	978B	公衆衛生看護学方法論Ⅰ	○		3前				2	30									●	
	978C	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	○		3前				2	30									●	
	9873	公衆衛生看護学演習Ⅰ	○		3前				1	30									●	
	9874	公衆衛生看護学演習Ⅱ	○		4前				1	30									●	
	978D	公衆衛生看護学管理論	○		4後				2	30										●
	9871	公衆衛生看護学実習Ⅰ(行政)	○		4通				4	180										●
9872	公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校・産業)	○		4通				1	45										●	
助産学 *2	9777	地域母子保健		○	3後				2	30									●	
	977H	助産学原論		○	3前				1	15									●	
	977A	助産診断・技術学Ⅰ		○	3前				2	30									●	
	977B	助産診断・技術学Ⅱ		○	3前				2	30									●	
	977C	助産診断・技術学Ⅲ		○	3前				2	30									●	
	977I	助産診断・技術学Ⅳ		○	4後				2	30									●	
	977J	助産技術学		○	4前				2	30									●	
	9779	助産管理		○	3後				1	15									●	
	977E	助産学実習Ⅰ		○	3前				1	45									●	
	977F	助産学実習Ⅱ		○	4前				3	135									●	
977G	助産学実習Ⅲ		○	4通				7	315									●		

[公衆衛生看護学]の読み換え科目は☆の12単位です

[助産学]の読み替え科目は★の7単位です

\*1:[公衆衛生看護学]の自由科目は保健師選択コースの学生が履修すべき科目です

\*2:[助産学]の自由科目は助産師選択コースの学生が履修すべき科目です

経営学部  
経営学科

---

## 3つのポリシー・カリキュラムの特色

### 1 3つのポリシー

#### 教育理念・目標

生涯にわたっての高い就業能力を身につけさせるため、健全な職業観と就業意識を涵養し経営学と情報学の専門知識とスキルを持つ専門的職業人の育成を目標とする。

#### ①アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

豊橋創造大学経営学部は、学修者が各々の個性を生かしつつ社会的素養を修得し、次世代の組織と社会の未来を担う専門的職業人へと成長しうるよう積極的に支援する。この視点から、次のような人材を求める。

- (1) 他者への思慮と広い視野、深い教養をもって組織や社会を考え、行動しようとする人
- (2) 経営学や会計学、隣接領域の専門知識と技能を自ら学修し、それを企業や自治体で生かそうとする人
- (3) 経営学や会計学、隣接領域の専門知識や技能を自ら学修し、それを起業や社会的価値を持つ商品・サービスの開発や提供に繋げようとする人
- (4) 情報コミュニケーション技術（ICT）領域の専門知識や技能を自ら学修し、それをビジネス社会で生かそうとする人
- (5) メディア表現やデザイン手法などの情報表現方法を身につけ、それをマーケティングなどの広報業務に生かそうとする人
- (6) 生涯にわたって学修を続ける人

#### ②カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

##### 教育目標

現代の市民社会を生きる人間には、社会生活を営むための基礎学力、広範かつ深奥な教養にもとづく価値観や倫理観、経済的自立のための経営学や会計学、情報コミュニケーション技術領域に係わる専門知識とスキル（技能）、そして健全な就業意識をもって未来を創造する意思と素養が求められている。

豊橋創造大学経営学部は、以下のカリキュラムを通し、ここに集う全ての学修者がそのポテンシャル、すなわち建学の精神に謳われる徳を開花させ、生涯にわたる学修意欲を持つ専門的職業人となるよう力強く支援する。

##### 教育科目の編成

基礎教育科目では、自らが直面する諸問題や社会的課題に対し、広く国際的視野をもって創造的に対処できるよう、多様かつ健全な価値観の醸成を促す諸科目を置く。また、アイデンティティー形成における自学自習の重要性に留意し、学修者個々人のニーズに配慮した学修機会の提供に取り組む。

専門教育では、経営学、会計学、情報コミュニケーション各領域の専門科目を基礎科目、基幹科目、展開科目として配置し、基礎から応用レベルに至るコンテンツを効果的に学修できるよう配慮する。3領域における基礎的知識の修得を保证するため、必要最低限の必修科目とコース別の推奨履修要件を設定する。

また、学外の社会活動を通して社会的基礎力を涵養し、専門知識の応用機会を提供するプロジェクト実習も、本学部における学修の特徴をなす。履修課程は、主体的な学びを奨励する学生中心のアプローチと意欲ある学生を取り残さない包摂する教育を基軸に編成されている。

## (1) 基礎教育科目

基礎的リテラシー、および学術的リテラシーの基礎を学ぶ少人数制の基礎教養ゼミナールを基軸に、学修者は基礎学力の自習を効率的に支援するリメディアル教育や多様なニーズに応える基礎科目を選択履修することができる。

- a. 基礎教養ゼミナール (DP I-①・②、DP II-①、DP III-①・②)
- b. 人間・社会に関する科目 (DP I-①)
- c. 外国語科目 (DP I-③)
- d. 健康の維持向上・管理に関する科目 (DP I-③)
- e. 日本文化に関する科目 (DP I-③)

## (2) 専門教育科目

経営学、会計学、情報コミュニケーション技術の3領域を設置し、2年次以降の専門的な学びの指針を明示する。選択領域以外の科目も履修することができる。専門教育の中核をなす専門ゼミナール（必修）では、論文の作成やディスカッションを通して生涯にわたって活用可能な専門知識や技能、学術的リテラシー、思考力の修得を目指す。

- a. キャリア形成科目 (DP I-①・②・③、DP III-①・②)
- b. 専門3領域とその隣接領域の教育科目 (DP I-①・②・③、DP II-①・②)
  - (b-1) 基礎科目
  - (b-2) 基幹科目
  - (b-3) 展開科目
- c. プロジェクト科目 (DP III-①・②)
- d. 専門ゼミナール (DP I-①・②、DP II-①・②、DP III-①・②)

## ③ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

### DP I 【知識・理解】

- (1) ビジネス社会において経営体を適切に管理運営するために必要な経営、会計・財務についての基礎的専門知識や技能を修得している。
- (2) 基礎的情報処理技術を理解し、その技術を経営、会計・財務に利用して適切にビジネス展開できる能力を身につけている。
- (3) 市民社会において必要となる基礎学力と幅広い教養、それらにもとづく倫理観や価値観を修得している。

### DP II 【思考・判断】

- (1) 自らが持つ教養や専門知識および情報処理技能を含む技能を適切に活用して、現状を適切に把握することができる。
- (2) 専門知識や技能を直面する問題解決のために応用することができる。

### DP III 【意欲・態度】

- (1) 変化する情報ビジネス社会において、自律的・積極的に知識探求する意欲と能力を備えている。
- (2) 自らの価値観や健全な就業観を持ち、組織の中で協調して活動できるコミュニケーション力を有している。

## 2 カリキュラムの特色

豊橋創造大学経営学部は、1996年の創設以来、起業家マインド（アントレプレナーシップ）と社会に貢献する実践的教育を掲げてきました。この言葉は、私たちの考えでは、事業という冒険に乗り出すことだけではなく、企業や行政、NPO 組織における、また一人ひとりの人生における新たな挑戦を意味します。

大学は、知的冒険と経験の場であり、近い将来に社会で活躍する皆さんの、かけがえのないアイデンティティー（あなたらしさ）形成の場でもあります。私たちは、皆さん一人ひとりが思い描く未来に向かって羽ばたけるよう、新しいカリキュラムと面倒見の良い教育により支援します。

**(1)学生中心の教育**… 多様かつ主体的な関心に基づく学修を奨励します。自らの意思で学び、自らの努力で課題に向き合うアプローチ (student-centred approach) によってのみ、私たちは高度な知識と技能（スキル）にもとづく思考力や判断力を習得できるからです。

▶多様なニーズに応えるカリキュラム：新カリキュラムは、選択制中心。基礎・専門教育にまたがる幅広い教育科目群から、自らのカリキュラムを組み立てられます。不明な点は、教職員に相談してください。

▶基礎教養教育と丁寧な指導：本学部は、他大学に先駆けて少人数の基礎教養ゼミナールを導入しました。今でも、1年次の入門ゼミナールは10名程度。担当教員の懇切丁寧な指導と仲間との切磋琢磨の中で、基礎的リテラシー（国語表現力など）とアカデミック・リテラシー（学術的学び）を修得し、各自の知的関心を伸ばす点は、当初の「寺子屋教育」の頃から変わっていません。

**(2)高度で実践的な専門教育**… 全ての人の幸せを視野に、ここに集う皆さんがビジネス遂行と経済的自立のための高度で実践的な専門知識と技能を修得できるよう、力強く支援します。

▶専門領域の形成：2年次より、経営学、会計学、情報コミュニケーション技術（ICT）の3領域から主専攻とするコースをひとつ選択します。皆さん一人ひとりが自ら学ぶ領域を選び、各自の専門領域を作り出すことが目標です。

▶相乗効果（シナジー）自由自在：ただし、経営3領域と隣接科目の相乗効果を得られるよう、選択コース外の科目も幅広く履修できます（例えば、経営学とICT領域双方を学ぶなど）。広範な知識と技能をもつことが、より良い職業生活を送るうえで有用だからです。

▶テーマ追究を促す専門教育：3、4年次の専門ゼミナールでは、皆さんが仲間と切磋琢磨しつつ選択したテーマを充実感をもって探究できるよう、教員が適切な支援を行います。私たちは、専門教育における学修と指導のあり方を絶えず工夫しています。

▶高度な資格と技能へのチャレンジ：皆さんが各種資格を取得するための集中的学修を支援します。ここには、資格関連科目の設定、キャリアセンター開講講座、資格取得奨励金制度などが含まれます。なお、リストにない資格については、ご相談ください。

**(3)面倒見の良い教育**… 丁寧な指導と支援、相互学修を促し、学修意欲のある学生に寄り添う教育を目指します。

▶社会人を磨くキャリア教育とプロジェクト実習：キャリア系科目は、社会人基礎力の育成を支援。地元企業や自治体と連携した多様なプロジェクト活動では、地域の社会的課題に答える実践的活動を経験できます。

▶基礎学力を身につけるリメディアル（補習）教育：職業生活に不可欠な基礎学力（英数国や就職試験）の修得機会を提供する予定です。ICTを活用した教材の活用を推奨、学修サポートセンターや入門ゼミナールの教員が皆さんの学修を支援します。

- (4)変わらない基本 … 小規模校ならではの学生と教職員、学生同士の交流、授業や学生生活に関する情報に随時アクセスできる充実した ICT 環境、そして豊川を望む豊かな自然環境は、開学以来の変わらない特徴をなしています。

## ①科目区分の特色

### 基礎教育科目

- (1)基礎教養ゼミナール：1年次の入門ゼミナールでは、国語表現（基礎的リテラシー）やレポート・論文の書き方（アカデミック・リテラシー）を、さまざまな領域のテーマに関するテキストの輪読や授業レポートの作成、討論、発表を通して学びます。2年次の基礎ゼミナールは、専門教育への橋渡しの位置づけです。
- (2)講義・実習科目：人間・社会に関する科目と外国語科目、健康の維持・向上に関する科目、日本文化に関する科目、そして本学独自の地域未来創造プログラムから構成されます。これらの科目は、各自の視野を広げ、各々の関心にもとづく教養や技能を修得し、それぞれの価値観を形作る上で、とても有益となることがあります。

### 専門教育科目

- (1)キャリア形成科目：将来の進路を考えるための科目です。基礎的な事柄に限定していますので、各自のキャリア・デザインに活用してください。
- (2)プロジェクト科目：地域連携型の社会貢献を行うための科目です。教室での学習で得られる知識や教養を、実社会での活動から得られる経験と結びつける機会を提供します。
- (3)専門基礎・基幹・展開科目：経営学、会計学、情報コミュニケーション技術（ICT）の各領域と隣接分野に関する科目群で、皆さんの専門知識の習得に中核的な役割を果たします。平易な導入科目（基礎科目）、中心的科目（基幹科目）、専門性をさらに深化させる科目（展開科目）から構成されています。
- (4)専門ゼミナール：各自が選択した専門領域において特定テーマを主体的に学ぶ、大学教育の中心科目です。4年次には、これまでの学習の集大成として卒業論文・卒業研究に取り組みますが、こうした学びで得た知識や教養、技能は、皆さんの生涯を通した学修を支える資産となります。







新科目区分	科目コード	科目ナンバリング	授業科目	ディプロマポリシー																			
				知識・理解DP I			思考・判断DP II			意欲・態度DP III													
				経営の基礎的専門知識	会計・財務の基礎的専門知識	基礎的ICTの理解	自らが持つ教養や専門知識を正確に把握し活用できること(1)～(3)	市民社会において必要となる基礎学力と幅広い教養(1)～(3)	基礎的情報処理技術を理解し、その技術を経営・会計・財務に採用して適切にビジネス展開できる能力を身に付けている(1)～(3)	自らが持つ教養や専門知識および情報処理技術に把握し活用できること(1)～(3)	問題解決に必要な知識の修得	知識の問題解決への応用	変化する情報ビジネス社会において、自律的に積極的な知識探求する意欲と能力を備えている(1)～(3)	自らの健全な心身の健康維持を促すことができる(1)～(3)	価値観の異なる多様な人々と協働して活動できるコミュニケーション能力の修得	職業観や就業観の確立							
専門教育科目	展開科目	情報コミュニケーション技術科目	5837 BAGM2029 CG				○		○	◎	○												
			5838 BAGM2030 CG実習				○		○	◎	○												
			584A BAGM3031 WEB デザイン				○		○	◎	○												
			584B BAGM3032 WEB デザイン実習				○		○	◎	○												
			5843 BAGM2033 情報ネットワーク論 1				○		○	◎	○												
			5844 BAGM2034 情報ネットワーク論 2				○		○	◎	○												
			5845 BAGM2035 情報ネットワーク実習 1				○		○	◎	○												
			5846 BAGM2036 情報ネットワーク実習 2				○		○	◎	○												
			5847 BAGM3037 ネットワーク構築				○		○	◎	○												
			584E BAE M2005 ICT 応用				○	○	◎	○	○	◎	○										
	584C BAGM3038 データサイエンス応用				○		○	◎	○														
	584D BAGM3039 WEB プログラミング				○		○	◎	○														
	演習	585A BAKM2007 演習 A	○	○	○	◎	△	△	○	◎	◎	○	○										
		585B BAKM3008 演習 B	○	○	○	◎	△	△	○	◎	◎	○	○										
585C BAKM3009 演習 C		○	○	○	◎	△	△	○	◎	◎	○	○											
専門ゼミナール	5848 BAIM3005 専門ゼミナール 1	○	○	○	◎	△	△	○	◎	◎	○	○											
	5849 BAIM3006 専門ゼミナール 2	○	○	○	◎	△	△	○	◎	◎	○	○											
	5850 BAIM4007 専門ゼミナール 3	○	○	○	◎	△	△	○	◎	◎	○	○											
	5851 BAIM4008 専門ゼミナール 4	○	○	○	◎	△	△	○	◎	◎	○	○											

# 経営学部 経営学科 カリキュラムツアー

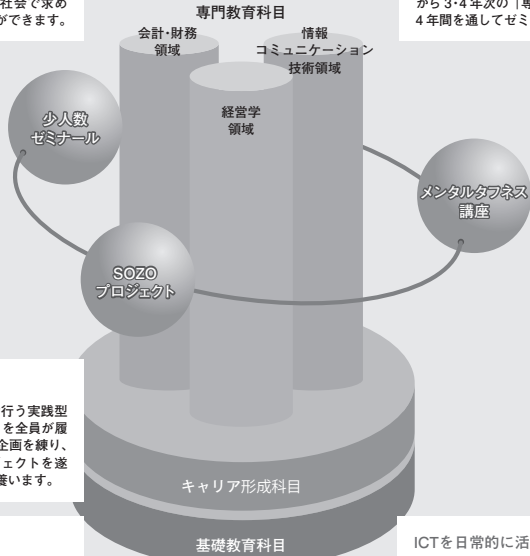
## カリキュラム構造

### 幅広い専門教育科目群

専門教育科目は、「経営学」「会計・財務」「情報コミュニケーション技術」の3領域で構成されています。これらを複合的に学ぶことにより、現代のビジネス社会で求められる幅広い知識を養うことができます。

### 4年一貫の少人数ゼミ

ゼミとは、担当教員の指導を受けながら、学生が自ら研究する大学ならではの授業。経営学部では、1年次の「入門ゼミナール」から3・4年次の「専門ゼミナール」まで、4年間を通してゼミを軸にして学びます。



### 本格プロジェクト学習

地元財界や自治体との連携で行う実践型授業「SOZOプロジェクト※」を全員が履修します。少人数グループで企画を練り、企業などの協力を得てプロジェクトを遂行することで、問題解決力を養います。

### 早期からのキャリア教育

1年次からの「キャリア形成科目」で、職業人としての基礎能力を養成。多様な企業へ出かけて経営現場を理解する就業体験講座もあります。また企業で働きながらビジネスを学ぶインターンシップも奨励しています。

### ICTを日常的に活用

タブレット型情報端末 iPad® を全員に無償貸与。授業だけでなく、課外活動や就職活動など学生生活のさまざまな場面で活用することで、ICT（情報コミュニケーション技術）がごく自然に養われます。

※科目名は「プロジェクトマネジメント」「プロジェクト実習」。

## Topics

### 企業から求められる「社会人基礎力」を養うカリキュラム。

経済産業省では、社会で仕事をするために必要な能力として、「基礎学力」「専門知識」とともに「社会人基礎力」を掲げています。社会人基礎力は3つの能力（前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力）と12の能力要素から構成されています。経営学部では、SOZOプロジェクト、メンタルタフネス育成講座、少人数ゼミナールなどを通じて、企業から求められる社会人基礎力を養うことができます。

### 社会人基礎力 3つの能力と12の能力要素

Action	Thinking	Teamwork
前に踏み出す力	考え抜く力	チームで働く力
主体性 働きかけ力 実行力	課題発見力 計画力 創造力	発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレス コントロール力

経営学部 経営学科 カリキュラムチャート

必修科目   選択必須科目   選択科目 専門基礎:6単位 専門基礎:12単位 コース別履修推奨(2年次以降)/12単位 卒業要件124単位/(配当年次)																	
			展開 (3-4)			流通論 東三河産業論 インターネットマーケティング 広告論 経営組織論 社会政策と市場経済 イノベーションマネジメント 生産管理 ビジネスエッセンス 会社法 国際経営論(2) 日本経営史 日本経済史(2)			商業簿記上級3 商業簿記上級2 商業簿記上級1 国際会計 監査論 税務会計 財務諸表論2 財務諸表論1 管理会計 原価計算2 原価計算1 キャッシュフロー会計 経営分析 ファイナンス論(2)			WEBプログラミング データサイエンス応用 ICT応用 ネットワーク構築 情報ネットワーク実習2 情報ネットワーク実習1 情報ネットワーク論1 WEBデザイン実習 WEBデザイン データベース実習2 データベース論2 データベース実習1 データベース論1 CG実習(2) CG(2) ビジュアルデザイン実習(2) ビジュアルデザイン(2)			専門セミナー4 専門セミナー3 専門セミナー2 専門セミナー1		
			ビジネスプランニング ビジネスプレゼンテーション コミュニケーションスキル プロジェクト実習2 プロジェクト実習1 インターンシップ 就業体験実習 キャリア形成2 プロジェクトマネジメント			基礎(2) 洋書購読演習2 洋書購読演習1 マクロ経済学(3) ミクロ経済学 組織行動論(3) 人的資源管理論(3) 経営戦略論(3) マーケティングマネジメント 経営情報管理論 経営管理論 経営ビジネス講座 工業簿記2 商業簿記2 工業簿記1 商業簿記1			データサイエンス基礎(3) データベース基礎 情報処理実習 情報処理 コンピュータの基礎 経営システム基礎 プログラミング データサイエンス入門 ICT入門(シラテジ/マネジメント案編) ICT入門(アプリケーション)			演習C 演習B 演習A					
基礎セミナー2 基礎セミナー1 入門セミナー2 入門セミナー1 基礎教養セミナー 基礎教育科目			基礎(1) DX入門 情報リテラン 経営と情報 社会学入門 経済学入門 マーケティング入門 経営学入門 簿記入門2 簿記入門1 会計学入門			演習C 演習B 演習A											
基礎教養セミナー 基礎教育科目			キャリア形成科目 プロジェクト科目			共通			経営			会計					
									ICT			演習					
												専門セミナー					
専門教育科目																	

# 履修の基礎（経営学科）

## 1 卒業要件単位数

(2026 年度入学生)

科目区分		必修	選択必修／選択	計	
基礎教育科目	基礎教養ゼミナール	8		30	
	人間生活の質的向上に関する科目		8		
	社会参加の前提に関する科目				
	現代社会の課題に関する科目				
	外国語		6		
	健康の維持向上・管理に関する科目		2		
	日本文化に関連する科目				
	地域未来創造プログラム				
他大学開講科目					
専門教育科目	基礎科目	共通科目	3	6	94
		経営学科目	2		
		会計学科目	2		
		情報コミュニケーション技術科目	2		
	専門分野	共通科目		12	
		経営学科目			
		会計学科目			
		情報コミュニケーション技術科目			
	展開分野	経営学科目		14	
		会計学科目			
		情報コミュニケーション技術科目			
	キャリア形成科目	6			
	プロジェクト科目	4			
	専門ゼミナール	8			
演習科目					
他大学開講科目					
合 計		35	48	41	124

## 2 履修登録単位数の上限 (CAP 制)

※全学年・学期の上限を一律 24 単位とする。

学年	年間制限単位数 (原則)	年間制限単位数 (原則)	
		春 学 期	24 単位以内
1 年次	48 単位	秋 学 期	24 単位以内
		春 学 期	24 単位以内
2 年次	48 単位	秋 学 期	24 単位以内
		春 学 期	24 単位以内
3 年次	48 単位	秋 学 期	24 単位以内
		春 学 期	24 単位以内
4 年次	48 単位	秋 学 期	24 単位以内
		春 学 期	24 単位以内

### 【注意事項】

- (1) 集中講義科目の単位数の計算は、履修登録上限単位数に含まれません。
- (2) 2年～4年次の各学期において教務委員会が必要と認めた学生については、上記に定める単位数を超えた登録を認めることがあります。

## 3 進級要件

2年次から3年次への進級要件を44単位に設定する。2年次以降、学生は選択したコース(経営学、会計学、情報コミュニケーション技術 (ICT) 各領域のいずれか)から12単位以上を履修することが望まれる。学生が参照できるコース別モデル時間割を別途提示する。

対象	単位数
1年次から2年次	18単位以上
2年次から3年次	44単位以上 ※1年次開講の必修科目が履修済みであること。

経営学部 (225 生以降) の 1 年次開講必修科目 (9 科目) :

「入門ゼミナール 1」「入門ゼミナール 2」「キャリア形成 1」「国語表現法」「経営と情報」「情報リテラン」  
「経営学入門」「会計学入門」「ICT 入門 (テクノロジー領域)」

## 4 資格について

本学の授業科目の履修・修得により取得をめざすことのできる免許及び資格・称号は、次の通りになります。

### ・IT パスポート（独立行政法人情報処理推進機構情報処理技術者試験センター）

IT パスポート試験は、情報技術の基礎知識を問う国家試験です。IT 化された社会で働くすべての方に必要な基本的能力を証明できます。

<https://www3.jitec.ipa.go.jp/jitesCbt/index.html>

### ・CompTIA IT Fundamentals

IT 関連の営業職種や新たに IT 関連職務に就くような人のスキル育成のファーストステップとして作られた、IT に関する基本となる知識・スキルを評価する認定プログラムです。PC コンポーネントの識別や利用用途の理解、各種設定、ソフトウェアインストールの実行、互換性により発生する障害の特定、セキュリティリスクの認識および予防等の知識を備えている事が証明されます。

<https://www.comptia.jp/>

### ・シスコ技術者認定試験、CCNA（シスコシステムズ）

Cisco CCNA ネットワークアソシエイト認定資格では、WAN でのリモートサイト接続の実装と確認を含め、中規模ルーテッドネットワークおよびスイッチドネットワークの導入、設定、運用、およびトラブルシューティングを行う能力を備えていることが証明されます。

<https://www.cisco.com/site/jp/ja/index.html>

### ・MOS「マイクロソフトオフィススペシャリスト」（株）オデッセイコミュニケーションズ）

Microsoft Office アプリケーションの利用スキルを証明する民間資格です。Word や Excel を使うすべての職種において役立つスキルを客観的に証明するもので、就職・転職時の実力アピールにも効果的です。多くの企業において社員教育として導入されています。

<https://mos.odyssey-com.co.jp/>

### ・オラクルマスター（日本オラクル（株））

情報化社会の進展に伴う情報管理で重要性を増しているデータベースの技術者を、日本オラクル社が認定する制度です。そのレベルは世界で認められ、システムエンジニアの実力を証明するために欠かせない資格になっています。

<https://www.oracle.com/jp/>

### ・CG クリエイター検定ベーシック（CG-ARTS 協会）

デザインや 2 次元 CG の基礎から、構図やカメラワークなどの映像制作の基本、モデリングやアニメーションなどの 3 次元 CG 制作の手法やワークフローまで、表現に必要な多様な知識を測ります。

<https://www.cgarts.or.jp/v1/kentei/about/creator/index.html>

### ・マルチメディア検定ベーシック（CG-ARTS 協会）

マルチメディアの扱い方とインターネットを用いたコミュニケーション技術に関する基礎的な理解と、多様な生活の場面で知識を利用する能力を測ります。

<https://www.cgarts.or.jp/v1/kentei/about/multimedia/index.html>

## ・日商プログラミング検定

AI時代を迎え、現代人の必須スキルとなったプログラミングに関する基本知識、スキルを体系的に習得し、その習得レベルを測定・認定する検定試験・認定制度です。

<https://www.kentei.ne.jp/pg>

## ビジネス系資格・称号

### ・簿記検定（日本商工会議所）

簿記は、企業規模の大小や業種、業態を問わずに、日々の経営活動を記録・計算・整理して、経営成績と財政状態を明らかにする技能になります。

<https://www.kentei.ne.jp/bookkeeping>

- 1級…極めて高度な商業簿記・会計学・工業簿記・原価計算を修得し、会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析を行うために求められるレベル。合格すると税理士試験の受験資格が得られる。公認会計士、税理士などの国家資格への登竜門。
- 2級…経営管理に役立つ知識として、企業から最も求められる資格の一つ。高度な商業簿記・工業簿記（原価計算を含む）を修得し、財務諸表の数字から経営内容を把握できるなど、企業活動や会計実務を踏まえ適切な処理や分析を行うために求められるレベル。
- 3級…業種・職種にかかわらずビジネスパーソンが身に付けておくべき「必須の基本知識」として、多くの企業から評価される資格。基本的な商業簿記を修得し、小規模企業における企業活動や会計実務を踏まえ、経理関連書類の適切な処理を行うために求められるレベル。

### ・税理士（国税庁）

卒業要件単位に含まれる選択科目を履修してください。あわせて、税理士試験対策講座を活用することにより、試験合格を目指してください。

<https://www.nta.go.jp/taxes/zeirishi/zeirishishiken/zeirishi.htm>

## 5 卒業論文作成と提出について

本学科では「専門ゼミナール」において卒業論文を提出することを必修としている。4年生は、ゼミナール指導教員の指示に従い、下記事項をよく読んで提出すること。

### (1)卒業論文提出資格

学部4年生以上に在学し、所定の単位を修得済みまたは見込みであること。

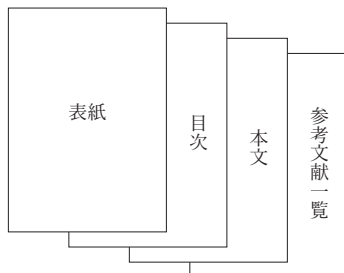
### (2)卒業論文の提出について

- ①卒業論文の提出部数は1部。
- ②卒業論文の提出期限は「専門ゼミナール4」の最終授業日とする。(提出期限についてはゼミナール指導教員に確認すること。)提出先は各ゼミナール指導教員に直接提出すること。

### (3)卒業論文作成上の注意

卒業論文の作成方法、形態にあたっては、ゼミナール指導教員の指導を受けること。例えば次のような方法が考えられる。

- ①用紙のサイズ等…A4サイズ(例40字/行、35行/ページ。1ページの行数、文字数はゼミナール指導教員に確認すること)、横書きで左綴じ、ワープロ使用のこと。
- ②表紙…一番上に卒業論文名、その下へ入学年度、ゼミナール指導教員名、学籍番号、氏名を明記する。
- ③ページのつけかた…目次、本文、参考文献一覧はそれぞれ1ページからページだてとする。
- ④枚数…原則として本文15枚以上(詳細はゼミナール指導教員の指示に従うこと)
- ⑤その他作成にあたって判断しかねることがあれば、ゼミナール指導教員に相談し、その指示に従うこと。
- ⑥卒業論文提出時の体裁(例示)



### (4)卒業論文の評価

「専門ゼミナール」の成績として評価する。

ゼミナール指導教員によっては提出後、卒業論文に関する口述試験あるいは発表会等(1月下旬～2月上旬)を行い、その結果も加味して成績を評価する場合がある。それぞれにゼミナール指導教員の指示を受けること。

# 教育課程表

## ①科目ナンバリング（体系的な教育課程の編成）について

### (1)科目ナンバリング

ナンバリング、あるいはコース・ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系的性を明示する仕組みです。大学内における授業科目の分類という意味を持っています。学問の分類や対象とするレベル（学年等）等を示すことで、学生が適切な授業科目を選択する際の参考となります。授業の位置づけがわかるように各科目に番号を振ることで、学士課程の科目全体を体系化でき、学生が授業を選びやすくすることを狙いとしています。

### (2)科目ナンバリング制度の学内基準

<u>BA</u>	<u>D</u>	<u>M</u>	<u>1</u>	<u>005</u>
学科/科	学修段階	位置づけ	配当学年	整理番号

本学のナンバリングは、まず、頭文字として、学科/科別にアルファベット2文字で分類しています。二つ目に、カリキュラムチャートにて分類された学修段階を英語表記（A～Z）で分類。次に、位置づけとして教養教育科目（L）と専門教育科目（M）を表記しています。そして、配当学年を表示し、最後に科目順に整理番号を表記しています。

経営学科 …………… BA Business Administration

学修段階 …………… カリキュラムチャートにて分類された学修段階を英語表記（A～Z）で分類。

位置づけ …………… 教養教育科目：L  
専門教育科目：M

配当学年 …………… 1年生：1  
2年生：2  
3年生：3  
4年生：4  
大学院：5  
自由科目等：0

整理番号 …………… 001番～999番

# 経営学科 教育課程表 (授業科目開講一覧表)

※開講時期は、変更となる場合があるので、毎年シラバス等で確認すること。

2026 年度入学生

科目区分	科目コード	科目ナンバリング	経営学部 経営学科 科目名	V	単位数			開講時期(●)								
					必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次					
								春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
ゼミナール 基礎教養	5601	BAIL1001	入門ゼミナール1	V	2			◎								
	5602	BAIL1002	入門ゼミナール2	V	2				◎							
	5603	BAIL2003	基礎ゼミナール1	V	2					◎						
	5604	BAIL2004	基礎ゼミナール2	V	2						◎					
人間社会に関する科目 人間生活の質 向上に関する科目 社会参加の前提に 関する科目 現代社会の 課題に関する科目	560A	BAAL1028	心理学	V	2			●								
	5607	BAAL1001	文学論	V	2				●							
	5608	BAAL1002	哲学	V	2				●							
	5609	BAAL1003	現代芸術論	V	2				●							
	5610	BAAL1004	社会学概論	V	2			●								
	5611	BAAL1005	法学概論	V	2			●								
	5612	BAAL1006	市民社会と政治	V	2			●								
	5613	BAAL1007	社会思想史	V	2			●								
	5614	BAAL1008	消費経済論	V	2			●								
	561A	BAAL2033	現代ヨーロッパ経済史	V	2						●					
	5616	BAAL1009	社会政策	V	2			●								
	5617	BAAL1010	西洋経済史	V	2			●								
	561B	BAAL1029	地球の生態学	V	2			●								
基礎教育科目 外国語	5621	BAAL1011	英語 1	V	2			●								
	5622	BAAL1012	英語 2	V	2				●							
	5624	BAAL1013	英語コミュニケーション1	V	2			●								
	5625	BAAL1014	英語コミュニケーション2	V	2				●							
	5626	BAAL2031	ビジネス英語	V	2					●						
	5627	BAAL1015	ドイツ語 1	V	2			●								
	5628	BAAL1016	ドイツ語 2	V	2				●							
	5630	BAAL1017	中国語 1	V	2			●								
	5631	BAAL1018	中国語 2	V	2				●							
	562A	BAAL1030	ポルトガル語	V	2				●							
	5632	BAAL1019	日本語 1	V	2			●								
	5633	BAAL1020	日本語 2	V	2				●							
	健康の維持 向上管理に 関する科目	5634	BAAL1021	スポーツ 1	V	1			●							
5635		BAAL2032	スポーツ 2	V	1					●						
5636		BAAL1022	健康科学 1	V	2			●								
5637		BAAL1023	健康科学 2	V	2				●							
日本文化に 関連する科目	5639	BAAL1024	茶道 1	V	1	2		●	●							
	5640	BAAL1025	茶道 2	V	1	2		●	●							
	5641	BAAL1026	華道 1	V	1	2		●	●							
	5642	BAAL1027	華道 2	V	1	2		●	●							
地域未来 創造プログラム	5643	BAAL2034	東三河創造入門	V	2					●						
	5644	BAAL2035	東三河の歴史風土と文化	V	1					●						
	5645	BAAL2036	データサイエンス入門	V	2					●						
専門教育科目 キャリア形成科目 プロジェクト科目	5752	BAJM1001	キャリア形成1	V	2				◎							
	5703	BAAM1037	国語表現法	V	2			◎								
	5753	BAJM2002	キャリア形成2	V	2					◎						
	5754	BAJM2003	就業体験実習	V	2						集中					
	5755	BAJM3004	インターンシップ	V	2		2					集中				
	5727	BAKM2001	プロジェクトマネジメント	V	2						◎					
	5728	BAKM3002	プロジェクト実習1	V	1							◎				
	5729	BAKM3003	プロジェクト実習2	V	1								◎			
	5731	BAKM3004	ビジネスプランニング	V	2									●		
	5732	BAKM3005	ビジネスプレゼンテーション	V	2									●		
5733	BAKM3006	コミュニケーションスキル	V	2									●			

科目区分		科目コード	科目ナンバリング	経営学部 経営学科 科目名	V	単位数			開講時期(●)				
						必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	
								春	秋	春	秋	春	秋
基礎科目	共通科目	5709	BAAM1038	経営と情報	V	2			◎				
		5756	BAAM1040	D X 入門	V	2				●			
		5757	BAAM1039	情報リテラシ	V	1			◎	▲			
	経営学科目	5714	BAAM1041	社会学入門	V			2		●			
		5715	BAAM1042	経済学入門	V		2			●			
		5716	BABM1001	経営学入門	V	2			◎				
		571D	BABM1002	マーケティング入門	V	2				●			
	会計・財務科目	5717	BACM1002	簿記入門1	V	2			●				
		5718	BACM1003	簿記入門2	V	2				●			
		5720	BACM1001	会计学入門	V	2			◎				
	情報コミュニケーション技術科目	5758	BADM1001	ICT入門(テクノロジー領域)	V	2			◎				
		5759	BAFM2013	プログラミング	V		2				●		
		575A	BAFM2008	ICT入門(ストラテジ/マネジメント領域)	V	2					●		
	専門教育科目	共通科目	573A	BAEM2015	ミクロ経済学	V	2				●		
			5735	BAFM3018	マクロ経済学	V	2					●	
5767			BAAM2043	洋書講読演習1	V		2			●			
5762			BAAM2044	洋書講読演習2	V		2			●			
5738			BAEM2002	経営管理論	V	2				●			
経営学科目		573B	BAEM2003	経営情報管理論	V	2				●			
		5730	BAFM2002	経営ビジネス講座	V	2				●			
		573C	BAFM2003	マーケティングマネジメント	V	2				●			
		5805	BAGM3001	経営戦略論	V	2					●		
		5811	BAGM3002	組織行動論	V	2					●		
		5813	BAGM3003	人的資源管理論	V	2					●		
会計・財務科目		5763	BAFM2004	商業簿記1	V	2			●				
		5764	BAFM2005	商業簿記2	V	2				●			
		5765	BAFM2006	工業簿記1	V	2			●				
		5766	BAFM2007	工業簿記2	V	2				●			
情報コミュニケーション技術科目		572A	BADM2002	コンピュータの基礎	V	2			●				
		574A	BAEM2004	経営システム基礎	V	2			●				
		574B	BAFM2009	情報処理	V	2				●			
		574C	BAFM2010	情報処理実習	V	1				●			
		575B	BAFM3011	データサイエンス基礎	V	2					●		
		574D	BAFM2012	データベース基礎	V	2				●			
展開科目		経営学科目	5803	BAGM3009	日本経営史	V		2				●	
			5804	BAGM2010	日本経済史	V		2				●	
			581C	BAGM2006	国際経営論	V	2			●			
	5808		BAGM3008	イノベーションマネジメント	V	2					●		
	5810		BAHM3001	生産管理	V	2					●		
	5812		BAGM3009	経営組織論	V	2					●		
	580A		BAHM3002	ビジネスエシックス	V	2				●			
	580B		BAGM3001	東三河産業論	V	2				●			
	5815		BAGM3011	広告論	V	2				●			
	581A		BAHM3003	インターネット・マーケティング	V	2					●		
	5817		BAHM3004	会社法	V	2					●		
	581B		BAHM3005	流通論	V	2					●		
	5739		BAFM3014	社会政策と市場経済	V		2				●		

科目区分	科目コード	科目ナンバリング	経営学部 経営学科 科目名	V	単位数			開講時期(●)											
					必修	選択必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次					
								春	秋	春	秋	春	秋	春	秋				
専門教育科目	展開科目	会計財務科目	5860	BAGM2012	ファイナンス論	V						●							
			5819	BAGM3013	経営分析	V								●					
			5820	BAGM4040	キャッシュフロー会計	V										●			
			5861	BAGM3014	原価計算1	V								●					
			5862	BAGM3015	原価計算2	V								●					
			5822	BAGM3016	管理会計	V									●				
			5863	BAGM3017	財務諸表論1	V								●					
			5864	BAGM3018	財務諸表論2	V									●				
			5825	BAGM3019	税務会計	V									●				
			5826	BAHM3003	監査論	V									●				
			5827	BAHM3007	国際会計	V									●				
			5865	BAGM3020	商業簿記上級1	V									●				
			5866	BAGM3021	商業簿記上級2	V										●			
			5867	BAGM4022	商業簿記上級3	V											●		
			5829	BAGM3023	データベース論1	V									●				
			5830	BAGM3024	データベース実習1	V									●				
			5831	BAGM3025	データベース論2	V										●			
	5832	BAGM3026	データベース実習2	V										●					
	5835	BAGM2027	ビジュアルデザイン									●							
	5836	BAGM2028	ビジュアルデザイン実習									●							
	5837	BAGM2029	C G										●						
	5838	BAGM2030	C G 実習										●						
	584A	BAGM3031	WEBデザイン											●					
	584B	BAGM3032	WEBデザイン実習											●					
	5843	BAGM2033	情報ネットワーク論1	V										●					
	5844	BAGM2034	情報ネットワーク論2	V											●				
	5845	BAGM2035	情報ネットワーク実習1	V										●					
	5846	BAGM2036	情報ネットワーク実習2	V											●				
	5847	BAGM3037	ネットワーク構築	V												集中			
	584E	BAEM2005	ICT応用	V										●					
	584C	BAGM3038	データサイエンス応用	V											●				
	584D	BAGM3039	WEBプログラミング	V											●				
	演習科目	585A	BAKM2007	演習 A	V								●						
		585B	BAKM3008	演習 B	V									●					
		585C	BAKM3009	演習 C	V										●				
	ゼミナール	5848	BAIM3005	専門ゼミナール1	V	2								◎					
		5849	BAIM3006	専門ゼミナール2	V	2									◎				
		5850	BAIM4007	専門ゼミナール3	V	2										◎			
		5851	BAIM4008	専門ゼミナール4	V	2											◎		

卷 末



### ①個人情報保護に関する方針

本学では、あらゆる場合において多くの個人情報に接しております。本学では、これらの個人情報の取得、保存、利用、処分等にあたり個人情報保護法等関連法令の遵守だけでなく本学に「個人情報の保護に関する規程」を制定し、その保護に万全を期すことをここに宣言します。

### ②本学における個人情報の取り扱い

個人情報は、個人の人格に係わる重要な情報であり、氏名、生年月日、住所、電話番号、その他の記述、又は個人別に付けられた番号、記号、その他の符号、画像若しくは音声によって当該個人を識別できるものをいいます。これらの個人情報を業務上使用する場合は、提供いただいた理由ないし目的の範囲内で、適切に取り扱います。また、目的外に使用する場合は、事前に本人若しくは正当な代理人の了承を得ることを原則とします。

### ③安全性の確保

個人情報は、安全な場所に保管し管理します。また不要になった個人情報は、適切な方法で確実に廃棄又は消去します。

### ④法令及びその他の規範の遵守

個人情報を取り扱う教職員は、個人情報に関する法令や本学規程を遵守するとともに、規範を守るための責任及び違反した場合の措置を周知する手順を確立し実施します。

### ⑤個人情報の取り扱いに関するお問い合わせ先

豊橋創造大学・豊橋創造大学短期大学部

個人情報保護委員会 [privacy@sozo.ac.jp](mailto:privacy@sozo.ac.jp)

個人情報保護法施行に伴い、学生等は大学が保有する個人情報に対し、開示、訂正、利用停止等を求めることができます。相談等は、事務局窓口で行うことができます。

## 2 豊橋創造大学・豊橋創造大学短期大学部における個人情報の取り扱いについて

豊橋創造大学・豊橋創造大学短期大学部では、個人情報の保護に関する法律が平成17年4月1日施行されて以来、学内諸規程等を整備し、関係法令を遵守しながら、本学在学生及びその保護者等（以下「在学生等」と記します）に関する個人情報の取り扱いには慎重を期しているところですが、本学の取扱う在学生等の個人情報及びその利用目的は以下のとおりです。

### 在学生等の個人情報及びその利用目的

#### ①入学時に取得する個人情報

##### (1)在学生に関する情報 (2)保護者等に関する情報

以上の個人情報は、

- ①学籍原簿等各種帳票類への記載、履修科目の登録、授業の実施、試験の実施、成績処理、成績の通知等在学生の教育、教務上及びキャリア支援上必要な事項の実施・指導・連絡のため
- ②在学生の生活指導上又は健康管理上必要がある場合の指導・連絡のため
- ③大学行事の連絡のため
- ④大学附属図書館の別冊利用に伴う連絡のため
- ⑤学納金に関する事項の請求・連絡等のために利用いたします。

##### (3)既往症、現在の健康状態、健康上の留意事項等

以上の個人情報は、在学生に対する日常的な健康安全管理の実施・指導や健康管理策等を検討する場合の資料として、可能な限り匿名化した上で利用いたします。

##### (4)出身校から提出された指導要録及び調査書等（学業成績、出席状況等）

以上の個人情報は、在学生の教科指導又は生活指導等を実施する時の参考資料として利用いたします。

##### (5)在学生又は保護者等の利用する金融機関名、口座番号、名義人等

以上の個人情報は、学納金及びキャンパスカードシステム利用料（利用代金）の自動口座振替のために、委託業者及び金融機関に提供いたします。

#### ②入学後の教育活動等の中で取り扱う個人情報

##### (1)授業の出欠状況等 (2)学業成績及び修得単位の状況

##### (3)学修指導・キャリア支援・進路指導及び生活指導上の課題事項

##### (4)サークル活動、学生会活動、ボランティア活動等の情報 (5)各種表彰等

##### (6)各種検定試験の成績、可否、取得資格等

以上の個人情報は、

- ①学修指導、成績判定、単位認定、卒業認定等に伴う各種帳簿への記録及び教務上必要な事項の実施・指導・連絡のため
- ②生活指導・キャリア支援・進路指導上必要がある場合の指導・連絡のため
- ③その他在学生の学事の処理を行う上で必要な事項の指導・連絡のために利用します。

なお、本学では、大学と学生本人及び保護者が一体となった教育を目指しており定期試験の結果（成績表）を学生本人及び保護者へ通知しております。

また、授業の出欠状況が思わしくない学生については、大学から保護者等へ照会させていただく場合があります。

**(7)健康診断結果、カウンセリング室及び保健室における相談内容等**

以上の個人情報は、在学生に対する日常的な健康管理の実施・指導等のために、可能な限り匿名化をした上で利用いたします。

**(8)学納金等の納付状況等**

以上の個人情報は、学納金に関する事項の請求・連絡等のために利用いたします。

**(9)本学の奨学金給付状況及び授業料減免制度の状況並びに申請時に提出される関係書類等**

以上の個人情報は、在学生の奨学事務等に利用いたします。

**(10)証明写真（身分証明書等）**

以上の個人情報は、学生個票や身分証明書（キャンパスカード）、進路登録カード、クラス名簿、履修者名簿、及び学内データベースに掲載し、学習指導、生活指導及びキャリア支援などに役立たせるために利用いたします。

**(11)授業、サークル活動、各種行事の際に撮影・録音した写真、映像、音声等**

以上の個人情報は、学内報、大学案内その他のPR誌、入学試験要項又はウェブサイト等に掲載することがあります。ただし、撮影・録音等は、事前に学生に了解を得た上で行います。

**(12)本学の関係団体における個人情報の取り扱いについて**

本学には本学と密接な関係を持ち、学生生活の充実や本学の発展に寄与している以下の団体があります。個人情報の取り扱いについては、十分な指導を行ったうえで一定の基準のもとに個人情報の提供を行っています。

①学生会

本人確認・呼び出し等のために、学生氏名及び所属学科・学籍番号の情報提供を行っています。

②同窓会

卒業生に同窓会に関する情報を提供するために、学生氏名及び所属学科・学籍番号・住所の情報提供を行っています。

在学生等に関する個人情報の取り扱いについて疑問等がありましたら、下記の相談窓口又は関連部課室窓口にお問い合わせください。

**【個人情報の取り扱いに関する相談窓口】**

豊橋創造大学・豊橋創造大学短期大学部  
個人情報保護委員会 [privacy@sozo.ac.jp](mailto:privacy@sozo.ac.jp)

**【関連部課室電話番号】**

代表電話を使用せず直接部課室に接続します。

キャリアセンター	0532-54-9721	図書館	0532-54-9728
教務課	0532-54-9722	地域連携・広報センター	0532-54-9729
学生課	0532-54-9723	創造同窓会	0532-54-9433
庶務課	0532-54-9724	短大同窓会	0532-54-9435
入試センター	0532-54-9725		





学籍番号

---

学年・クラス

年

クラス

---

氏名

---



Care & Idea

豊橋創造大学

保健医療学部 理学療法学科  
保健医療学部 看護学科  
経営学部 経営学科

〒440-8511 愛知県豊橋市牛川町松下20-1  
TEL.(0532)54-9722 FAX.(0532)55-0803

2026年4月1日 発行  
編集・発行／豊橋創造大学 教務課